ボイストレック

V-50
V-40
V-30

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使い下さい。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管して下さい。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

JP

目次

1 ご使用になる前の準備

2 音声レコーダーとして使う

3 本機をパソコンでお使いいただくためには

4 音楽プレーヤーとして楽しむ

5 音声レコーダーと 音楽プレーヤー共通の機能

6 その他の活用方法

7 その他

1
2
3
4
5
6
7

安全に正しくお使いいただくために

**ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。**

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

⚠警告
この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意
この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

電池について

⚠警告

本機で指定されてない電池を使わないでください。

火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。

電池の極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください。
電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。
- 表面の被覆の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しない時は、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの恐れがあります。

⚠警告

電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。
電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠警告

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

本機について

⚠警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

⚠警告

操作前から、音量を上げないでください。
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。

⚠警告

この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児、子供の近くで使用する時は細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故の恐れがあります。例えば
— 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
— 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

⚠警告

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

⚠警告

航空機内や病院などで使用に制限のある場所でのご使用をお避けになるか、その場所の指示にしたがってください。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取りましょう。特に塩分は禁物です。
- 清掃する時、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。

＜データ消失に関する注意事項＞

メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスク、MO などのメディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータ消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

ボイストレック（Voice-Trek）はオリンパス株式会社の登録商標です。

IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows MediaはMicrosoft Corporationの登録商標です。

WOW、SRS と (●) 記号は SRS Labs,Inc. の商標です。

WOW技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

MP3オーディオ符号化技術はFraunhofer IIS社とThomson社からのライセンスに基づき製品化されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

こんな使いかたができます

主な特長

本商品は以下のような特長を備えております。

- 本格的な「デジタル音声レコーダー」機能に加えて、「デジタル音楽プレーヤー」機能を搭載しています。(☞ P17、46)
- 本機をパソコンのUSBポートに直接接続するだけでパソコンとの連携を行います。USBケーブルやドライバソフトを使わずにデータの転送や保存ができます。(☞ P44)
- USBストレージクラス対応なので、パソコンの外部メモリとして、パソコンからデータの保存や読み出しができます。(☞ P85)
  - パソコンとUSB接続し、画像ファイルやテキストなどを保存できるので、データの持ち運びにもご使用いただけます。
- フルドット表示のバックライト付きディスプレイ（液晶表示パネル）を採用しています。(☞ P11)

音声レコーダーの特長

- 録音した音声を高能率圧縮でデジタル変換し、WMA（Windows Media Audio）形式のファイルとして記録します。(☞ P17)
- 内蔵ステレオマイクの採用により、ステレオHQ（ステレオ高音質録音）によるステレオ録音モードと、HQ(高音質録音)、SP（標準録音）・LP（長時間録音）の3種類のモノラル録音モードが選択できます。（☞ P22）

V-50 (1GB)の録音時間*1

ステレオ HQ	約 35 時間 25 分
HQ	約 70 時間 50 分
SP	約 139 時間 30 分
LP	約 277 時間 20 分

V-40 (512MB)の録音時間*1

ステレオ HQ	約 17 時間 40 分
HQ	約 35 時間 20 分
SP	約 69 時間 30 分
LP	約 138 時間 15 分

V-30 (256MB)の録音時間＊[1]

ステレオHQ	約8時間45分
HQ	約17時間35分
SP	約34時間40分
LP	約68時間55分

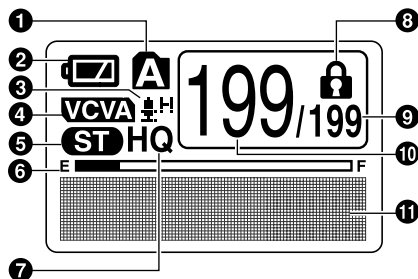
＊1：小刻みに録音を繰り返した場合は、録音可能時間がこれより短くなることがあります。（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてお使いください）

- 5つのフォルダにそれぞれ199件、合計で最大995件の音声ファイルを保存できます。（☞ P17）
- 音声に反応して自動的に録音の開始・停止を行う、音声起動録音（VCVA）機能を搭載しています。（☞ P20）
- インデックスマーク機能で、聞きたい場所をすばやく探すことができます。（☞ P34）
- 再生スピードをお好みに合わせて調節できます。（☞ P27）
- 再生中に少しだけ戻って聞き直しができる少し前再生機能を搭載しています。（☞ P33）

音楽プレーヤーの特長

- MP3とWMA形式の音楽ファイルが再生可能です。（☞ P55）
  - V-50は約13時間20分～45時間20分、V-40は約6時間40分～22時間40分、V-30は約3時間20分～11時間20分の音楽データを収録できます。
- 臨場感を高めるWOW機能を搭載しています。（☞ P63）
- 再生イコライザーの切り替えが可能です。（☞ P65）

各部のなまえ

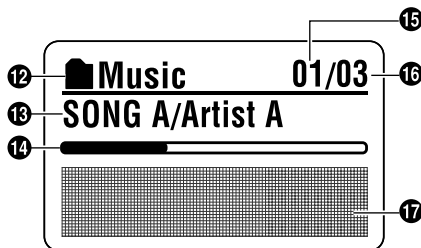
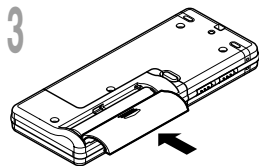
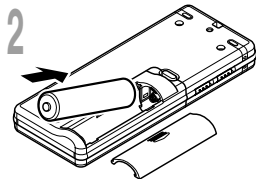
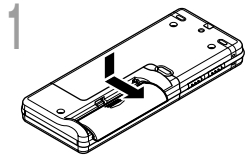
① イヤホンジャック
② マイクジャック
③ 内蔵ステレオマイク（R）
④ 録音ボタン
⑤ 停止ボタン
⑥ 再生ボタン
⑦ 内蔵スピーカ
⑧ USB 端子
⑨ 音量（＋）ボタン
⑩ ▶▶I ボタン
⑪ 音量（−）ボタン
⑫ フォルダ / インデックスボタン
⑬ 消去ボタン
⑭ OK ボタン
⑮ I◀◀ ボタン
⑯ ディスプレイ（液晶表示パネル）
⑰ 内蔵ステレオマイク（L）
⑱ 録音 / 再生表示ランプ
⑲ ストラップ取り付け部
⑳ USB アクセス表示ランプ
㉑ ホールドスイッチ
㉒ モード（レコーダ/ミュージック）スイッチ
㉓ リリースボタン
㉔ 電池ぶた
㉕ 電池ボックス接続端子

ディスプレイ

音声モード表示画面

録音時の画面

音楽モード表示画面

ファイル表示時の画面

❶ フォルダ表示
❷ 電池残量表示
❸ マイク感度表示
❹ 音声起動録音（VCVA）表示
❺ ステレオ表示
❻ メモリ残量バー（E/F バー）表示
❼ 録音モード表示
❽ 消去ロック表示
❾ フォルダ内の総ファイル数
❿ ファイル番号
⓫ 情報、警告表示部
⓬ フォルダ名表示
⓭ 曲名 / アーティスト名表示
⓮ 再生位置バー表示
⓯ ファイル番号
⓰ フォルダ内の総ファイル数
⓱ 情報、警告表示部

電池を入れる

1 矢印部分を軽く押しながら、電池ぶたをスライドさせて開ける

2 新品の単4形電池を正しい向きで入れる

3 電池ぶたを完全に閉める

電池を交換するめやす

電池の残量に応じてディスプレイの電池残量表示が次のようにかわります。

→ →

ディスプレイに マークが表示されたら、早めに新しい電池に交換してください。

電池がなくなると マークと「電池を交換して下さい」が表示され、動作が停止します。
交換の際は単４形アルカリ乾電池の使用をおすすめします。

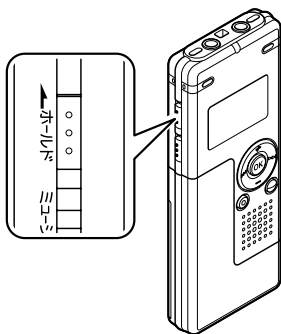
ニッケル水素充電池

本機では、別売のオリンパス製ニッケル水素充電池をご使用いただけます。オリンパス製充電器と併せてご利用ください（☞ P88）。

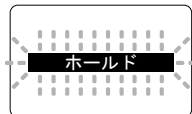
ご注意

- 電池の交換は必ず本機を停止状態（☞ P89）にしてから行ってください。
  本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなる恐れがあります。
- 本機から電池を抜いた状態が1時間以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、時刻の設定が必要になることがあります（☞ P14）。
- 長期間本機をご使用にならない場合は電池を取り外してください。

電源について

本機をお使いにならないときは、ホールドにすることで本機の電源が切れた状態になり、電池の消耗を最小限に抑えることができます。
電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。電源を入れるときは、ホールドスイッチを解除してください。

電源を切る

本機が停止中にホールドスイッチをホールドにする

「ホールド」を2秒間点滅表示後、ディスプレイが消灯します。

電源を入れる

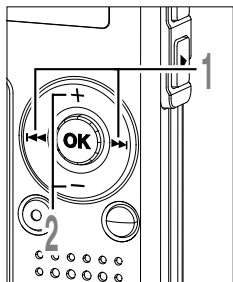
本機のホールドスイッチを解除する

省電力機能について

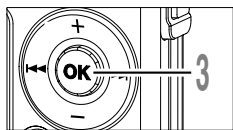
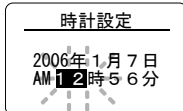
電源を入れて停止状態のまま５分以上経過すると、ディスプレイ表示が消え、省電力モードになります。省電力モードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

日付・時刻(Time & Date)を合わせる

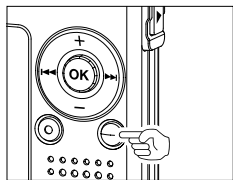
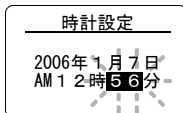
日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ設定しておくことをおすすめします。

ご購入後初めてお使いになるときや、長い間お使いにならないで電池を入れたときは、「時計を設定してください」と表示されます。「時」表示が点滅したら、次の手順から設定をしてください。

1 ▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押して設定対象を選ぶ

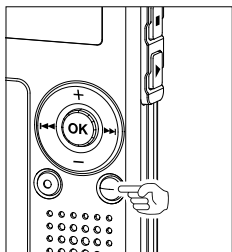
「時」「分」「年」「月」「日」のうち、設定したい項目に点滅を合わせてください。

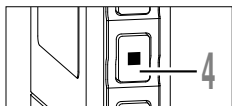
時計設定
2006年 1 月 7 日
AM 1 2 時 5 6 分

2 ＋または－ボタンを押して設定する

以下同じように ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定対象を選び、＋または－ボタンを押して、設定を行います。

時計設定
2006年 1 月 7 日
AM 1 2 時 5 6 分

3 OKボタンを押して設定を完了する

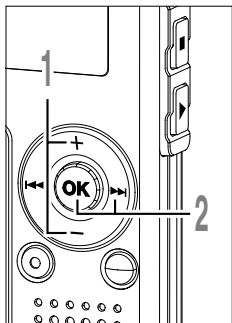
設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせてOKボタンを押してください。

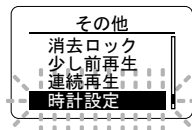
- 時、分の設定中、フォルダ / インデックスボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。
  (例) 午後 5 時 45 分の場合
  PM5 時 45 分 ↔ 17 時 45 分
  <初期設定>

- 年、月、日の設定中、フォルダ / インデックスボタンを押すたびに「年」「月」「日」表示の順序が切り替わります。
  （例）2005 年 8 月 14 日の場合

  2005 年 8 月 14 日 <初期設定>
  ↓
  8 月 14 日 2005 年
  ↓
  14 日 8 月 2005 年

4 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 設定の途中にOKボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。

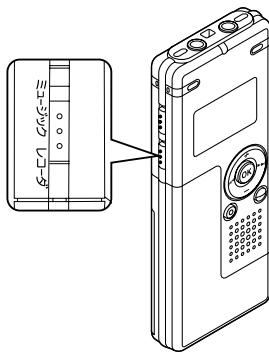
日付・時刻の設定をかえるには

1 「その他」画面で＋または－ボタンを押して「時計設定」を選ぶ

「その他」については（☞ P40、70、77）をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

「時」表示が点滅し、日付・時刻の設定を始めます。

以下は「日付・時刻を合わせる」の手順 1 からと同じです（☞ P14）。

音声レコーダーと音楽プレーヤーの切り替え

本機は音声レコーダーと音楽プレーヤーの２種類の機能を備えています。
使用目的に合わせてモード（レコーダ / ミュージック）スイッチを切り替えてください。

モードスイッチで**レコーダ**か**ミュージック**を選ぶ

レコーダ ..... 用件を録音・再生するとき
ミュージック ..... 音楽ファイルを再生するとき

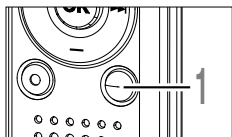
本書で使われるアイコンについて

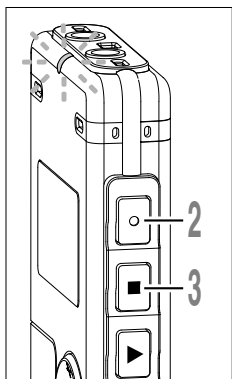
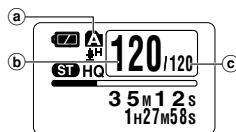
モードスイッチをレコーダに切り替えてから本機の操作を行ってください。

モードスイッチをミュージックに切り替えてから本機の操作を行ってください。

モードスイッチがレコーダでもミュージックでも本機の操作は可能です。

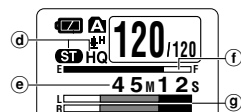
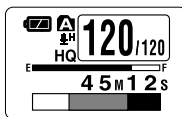
録音する

本機には A B C D E の5つのフォルダがあり、各フォルダに録音した音声は1件ごとに「ファイル」として保存されます。Aフォルダはプライベート用、Bフォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。各フォルダごとに最大199件の用件を録音できます。

1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ

ⓐ 現在のフォルダ
ⓑ 現在のファイル番号
ⓒ フォルダ内に録音済みのファイル総数

2 録音ボタンを押して録音を開始する

録音/再生表示ランプが赤く点灯し、録音を始めます。

録音したい方向に内蔵ステレオマイクを向けます。ディスプレイの表示は録音モード(☞ P22)により異なります。

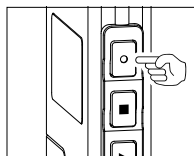
ⓓ 現在の録音モード
ⓔ 現在の録音時間
ⓕ メモリ残量バー表示
ⓖ レベルメータ(録音音量に合わせて変化します)

ステレオ録音時表示画面

モノラル録音時表示画面

3 停止ボタンを押して録音を止める

ディスプレイの表示パターンをかえることができます(☞ P38)。
本書でのディスプレイ表示は初期の状態を示します。

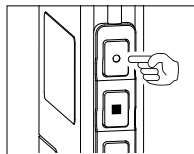
ご注意

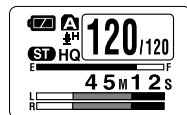
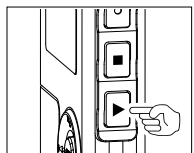
- 頭切れを防ぐために、録音 / 再生表示ランプの点灯を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒、30 秒、10 秒になったときに警告音が鳴ります。
- 録音可能な残り時間が60秒になると録音/再生表示ランプが点滅を始め、30秒、10秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ディスプレイに「メモリーがいっぱいです」や「これ以上記録できません」と表示されたときは、メモリやファイル件数がいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P72）。
- モードスイッチが「ミュージック」モードになっている状態で録音ボタンを押すと、「音楽再生モードです」が点滅します。モードスイッチを「レコーダ」モードに切り替えてから録音を始めてください（☞ P16）。

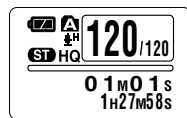
一時停止するには

録音中に**録音**ボタンを押す。

➥ ディスプレイの「録音ポーズ中」が点滅します。

- 録音一時停止のまま60分以上過ぎると停止状態になります。

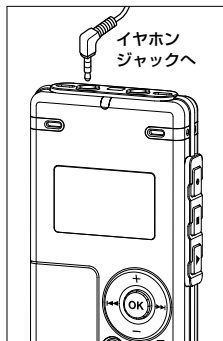
一時停止を解除するには

録音ボタンをもう一度押す。

➥ 一時停止したところから録音を再開します。

録音内容をすばやく確認するには

録音中に**再生**ボタンを押す。

➥ 録音を中断し、今録音したファイルが再生されます。

録音中の音声を聞くときは（録音モニター）

イヤホンを本機のイヤホンジャックに差し込むと、録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は音量（+）または音量（−）ボタンを押して調節できます。

本機のイヤホンジャックにイヤホンを接続する

➥ 録音を開始すると録音中の音声をイヤホンで聞くことができます。イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

ご注意

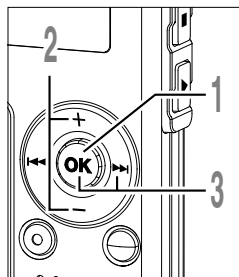
- 音量を変えても録音レベルは変化しません。
- 耳への刺激を避けるため、音量を0にしてからイヤホンを入れてください。

録音に関する設定

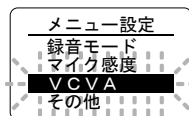
ご購入後すぐにステレオ録音ができるようにステレオHQモードが設定されていますが、ほかにもモノラル録音のHQ、SP、LPモードが設定できます。状況に応じた録音モードをお選びください。
また本機は、メモリの節約ができる音声起動録音機能(VCVA)やマイク感度も設定できます。詳しくは下記のページを参照してください。

録音モード：ステレオ HQ (ステレオ高音質録音) モード/HQ (高音質録音)モード/
SP (標準録音) モード/LP (長時間録音) モード（☞ P22）
マイク感度：会議 / 口述（☞ P23）
音声起動録音(VCVA)：OFF/ON（☞ P20）

音声起動録音（VCVA）のしかた

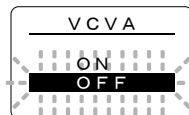
音声起動録音（VCVA）とは、設定した起動感度よりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。
会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約することができます。

1 OKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P40、76)。

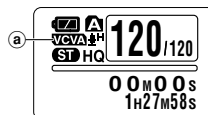
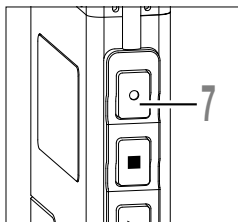
2 ＋または－ボタンを押して「VCVA」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

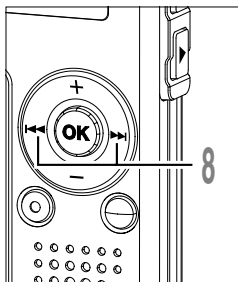
VCVAの設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

ON…以降は音声起動録音になります。
OFF…通常の録音に戻ります。

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

6 停止またはI◀◀ ボタンを押してメニュー画面を終了する

「ON」を選択したときはディスプレイのVCVA表示が点灯します。

ⓐ VCVA 表示

7 録音ボタンを押して録音を開始する

設定した起動感度より音が小さくなると約1秒後に自動的に録音が一時停止します。このときディスプレイに「待機中」が点滅します。録音起動中は録音/再生表示ランプが赤く点灯し、一時停止すると点滅します。

8 録音中に▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押してVCVAの起動レベルを調節する

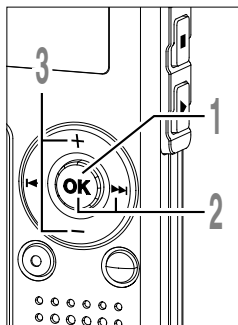
ディスプレイにVCVA起動レベルが15段階(1〜15)で表示されます。数字が大きくなるほどVCVAの起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

ⓐ **レベルメータ**（録音音量に合わせて変化します）
ⓑ **起動レベル**（設定レベルに応じて左右に動きます）

ご注意

- 起動レベルは設定されているマイク感度により異なります（☞P23）。
- 起動レベルの調節は 2 秒以内に行わないと表示が元に戻ります。
- まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じて VCVA の起動感度を調節することができます。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で起動感度を調節することをおすすめします。

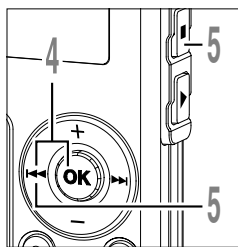
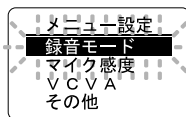
録音モード（Rec Mode）をかえる

録音モードは、ステレオ HQ（ステレオ高音質録音）、HQ（高音質録音）、SP（標準録音）、LP（長時間録音）から選ぶことができます。

1 OKボタンを1秒以上押す

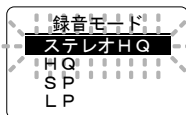
ディスプレイに「録音モード」が表示されます（☞ P40、76）。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

録音モードの設定を始めます。

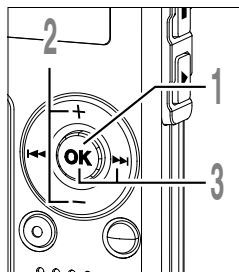
3 ＋または－ボタンを押して「ステレオHQ」、「HQ」、「SP」、「LP」から選ぶ

4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

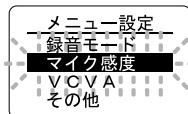
5 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

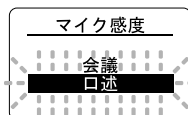
ⓐ 録音モード表示

ご注意

- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合は、LP モード以外に設定して録音してください。
- ステレオＨＱでマイクジャックにモノラルマイクを挿入して録音した場合、Lチャンネルのみに音声が録音されます。

マイク感度（Mic Sense）をかえる

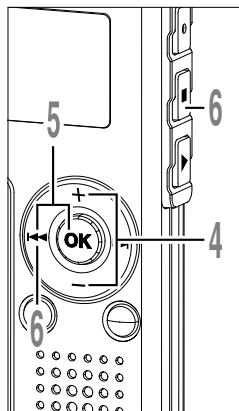
使用目的に合わせて内蔵ステレオマイクの感度を切り替えることができます。

1 OKボタンを1秒以上押す
メニュー画面に入ります(☞ P40、76)。

2 ＋または－ボタンを押して「マイク感度」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す
マイク感度の設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「会議」か「口述」を選ぶ

会議…周囲の音も録音できる高感度モードです。

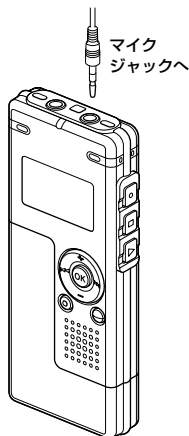
口述…口述録音に適した通常感度モードです。

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

6 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する
ⓐ マイク感度表示

ご注意

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合は口述モードにして、本機の内蔵ステレオマイクを話し手の口に近づけて（5～10cm）録音してください。
- 口述モードで録音しても、周囲の雑音が録音に影響する場合は単一指向性マイクロホンME12（別売）のご使用をおすすめします。

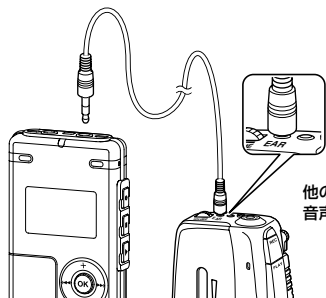
外部マイクや他の機器から録音する

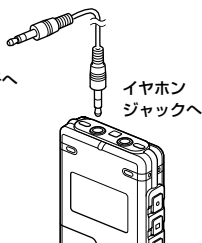
外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音することができます。お使いになる機器により、次のように接続してください。

外部マイクで録音する

本機のマイクジャックに外部マイクを接続する

本機のマイクジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。

ご使用いただける外部マイク

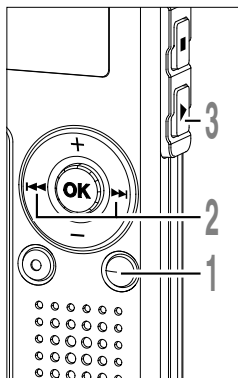
- **単一指向性モノラルマイクロホン：ME12（別売）**
  周囲の雑音の影響を軽減して、ご自身の声を録音したい場合に使用します。
- **モノラルタイピンマイク：ME15（別売）**
  タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。
- **モノラルテレホンピックアップ：TP7（別売）**
  イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。
- **ステレオマイクロホン：ME51S（V-50のみ同梱）**
  大口径マイク内蔵で、より高感度のステレオ録音が可能です。ステレオ録音はステレオHQ設定時のみ可能です。

他の機器の音声を本機で録音する

他の機器の音声出力端子(イヤホンジャック)と本機のマイクジャックをダビング用コネクティングコード(☞ P88)でつなぐと、その音声を録音できます。

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器の音声入力端子(マイクジャック)と本機のイヤホンジャックをダビング用コネクティングコード(☞ P88)でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。

ご注意

- 本機と他の機器の接続はダビング用コネクティングコード（KA333）で行ってください（☞ P88)。
- 本機では入力レベルの調節はできません。外部機器を接続するときは試し録音をして、外部機器の出力レベルを調節してください。
- 本機から電源の供給を受けるプラグインパワー対応のマイクもご使用になれます。
- 本機のジャックへの抜き差しは、録音中に行わないでください。
- HQ、SP、LPモード設定中に外部ステレオマイクを挿入した場合、Lチャンネルマイクのみでの録音になります。
- ステレオＨＱモードでマイクジャックにモノラルマイクを挿入した場合、Lチャンネルのみに音声が録音されます。

再生する

1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ

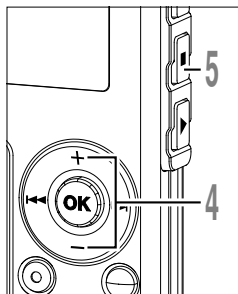
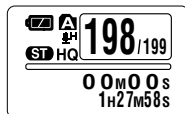
2 ▶▶|または|◀◀ボタンを押して再生したいファイルを選ぶ

▶▶|または|◀◀ボタンを押し続けると、連続してファイルの頭出しをします。

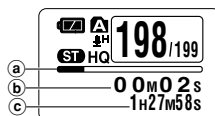
3 再生ボタンを押して再生を開始する

録音/再生表示ランプが緑色に点灯します。

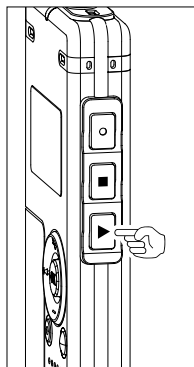
ⓐ 再生位置バー表示
ⓑ 再生中のファイルの経過時間
ⓒ 再生中のファイルのトータル時間

198/199
ST HQ
ⓐ
ⓑ 00M02S
ⓒ 1H27M58S

4 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする

ディスプレイにボリュームレベルが31段階(0〜30)で表示されます。

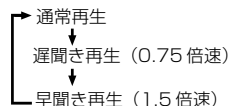
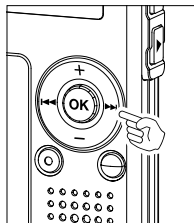
ⓓ ボリュームレベルメータ

5 停止ボタンを押して再生を停止する

再生していたファイルの途中で停止します。再生ボタンを押すと、停止していたところから再生を開始します。

ディスプレイの表示パターンをかえることができます(☞ P38)。本書でのディスプレイ表示は初期の状態を示します。

再生速度をかえるには（早聞き再生 / 遅聞き再生）

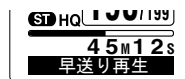
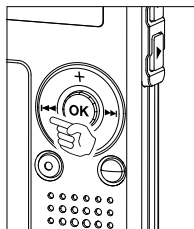
再生中に**再生**ボタンを押す。

➡ 再生速度をかえることができます。

→ 通常再生
↓
遅聞き再生（0.75 倍速）
↓
早聞き再生（1.5 倍速）

- 早聞き・遅聞き再生のときも通常再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマーク（☞ P34）の挿入などの操作ができます。
- 遅聞き再生をするとディスプレイに「遅聞き再生」が点灯し、早聞き再生すると「早聞き再生」が点灯します。
- 遅聞き・早聞き再生中に停止ボタンを押すか、ファイルの終わりまで進むと、停止状態になります。次のファイルの再生は通常の再生速度に戻ります。
- 遅聞き・早聞き再生中は、ステレオHQモードで録音されたファイルでもモノラル再生されます。

早送り・早戻しするには

早送り

再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

➡ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

- ファイルの途中にインデックスマークがついているときは、インデックスマークの位置でいったん停止します。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに▶▶Iボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻し

再生中に I◀◀ ボタンを押し続ける。

➡ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

- ファイルの途中にインデックスマークがついているときは、インデックスマークの位置でいったん停止します。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらにI◀◀ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには

再生中、遅聞き、早聞き中に ▶▶| ボタンを押す。
➥ 次のファイルの頭出しをして、元の早さで再生を始めます。

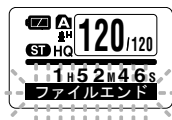
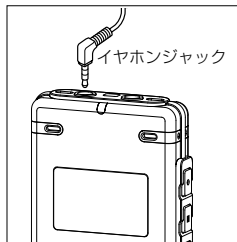
再生中、遅聞き、早聞き中に |◀◀ ボタンを押す。
➥ 再生中のファイルの頭出しをして、元の速さで再生を始めます。*

再生中、遅聞き、早聞き中に |◀◀ ボタンを 2 回押す。
➥ 1 つ前のファイルの頭出しをして、元の速さで再生を始めます。*

- ファイルの途中にインデックスマークがついているときは、インデックスマークの位置で再生を始めます。

* 少し前再生が設定されている場合（☞ P33）、設定時間分だけ逆スキップして再生を始めます。

最終ファイルの終わりまで再生または早送りすると

最終ファイルの終わりまで到達するとディスプレイに「ファイルエンド」が 5 秒間点滅し、その後、最終ファイルの頭に戻って停止します。「ファイルエンド」点滅表示中は以下の操作を行うことができます。

- |◀◀ ボタンを押すと、最終ファイルの頭またはインデックスマークのいずれか近い方に戻って再生を始めます。少し前再生が ON の設定中は、少し前再生の設定時間分だけ逆スキップして再生を始めます。
- |◀◀ ボタンを押し続けると、最終ファイルの終わりから早戻しを始め、ボタンを離したところから再生します。
- ▶▶| ボタンを押すと、先頭ファイルの頭にスキップして停止します。
- ▶▶| ボタンを押し続けると、先頭ファイルの頭から連続してスキップして、ボタンを離したところで停止します。

イヤホンで聞くとき

本機のイヤホンジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。
➥ イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

ご注意

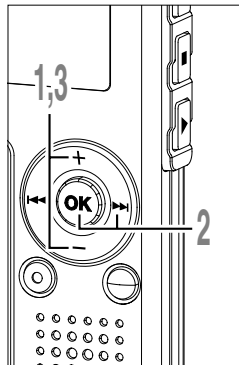
- 耳への刺激を避けるため、ボリュームレベルを0にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く時は音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

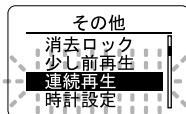
再生に関する設定

ご購入時は、1つのファイルを再生し終わると自動的に停止するように設定されていますが、そのまま次のファイルを連続して再生させることもできます。
また本機は、繰り返し再生するリピート再生機能を備えています。詳しくは下記のページを参照してください。

連続再生：　OFF/ON（☞ P30）
リピート再生：　設定（☞ P31）
少し前再生：　OFF/1 秒前 /2 秒前（☞ P33）

連続再生（All Play）のしかた

再生中のファイルが終了後も、連続して次のファイルを再生することができます。

1 「その他」画面で＋または－ボタンを押して「連続再生」を選ぶ

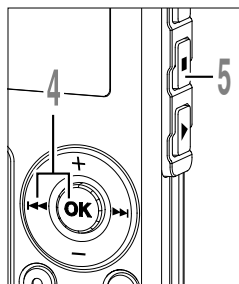
「その他」については（☞ P40、77）をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

連続再生の設定を始めます。

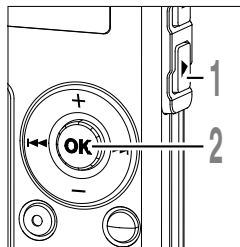
3 ＋または－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

ON…以降は連続再生になります。
OFF…通常の再生に戻ります。

4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

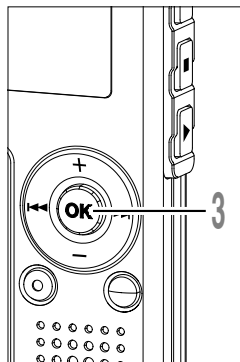
5 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイルごとに再生を終了させたくないときは「ON」を選択してください。フォルダ内の最終ファイルまで再生すると、「ファイルエンド」が表示され、再生が停止します。

リピート再生する

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生することができる機能です。

1 リピート再生したいファイルを選び、再生ボタンを押す

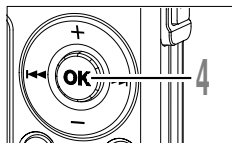
ファイルの再生を開始します。

2 OKボタンを1秒以上押す

「開始位置？」が点滅します。

3 リピート再生を開始させたい位置でOKボタンを押す

「終了位置？」が点滅します。

この「開始位置？」と「終了位置？」の点滅中も通常の再生中と同じように再生スピードの切り替え（☞ P27）や、早送り・早戻し（☞ P27）が行え、開始位置や終了位置まで早く進めることができます。

「終了位置？」の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合は、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

4 リピート再生を終了させたい位置で、もう一度OKボタンを押す

リピート再生を解除するまで、開始位置と終了位置の間を繰り返し再生します。

リピート再生中も通常再生と同じように、再生スピード(☞ P27)を変えることができます。またリピート再生中にインデックスマーク(☞ P34)の挿入・消去を行うとリピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。

リピート再生を解除する

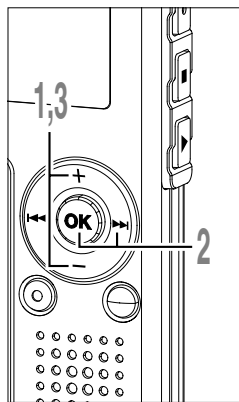
OK ボタンを押す。
➥ リピート再生が解除され、再生を続けます。

停止ボタンを押す。
➥ リピート再生が解除され、再生を停止します。

▶▶I ボタンを押す。
➥ リピート再生が解除され、早送り、頭出しになります。

I◀◀ ボタンを押す。
➥ リピート再生が解除され、早戻し、頭出しになります。

少し前再生（Back Space）のしかた

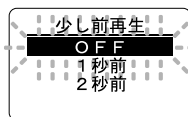
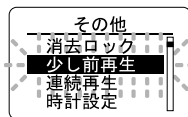
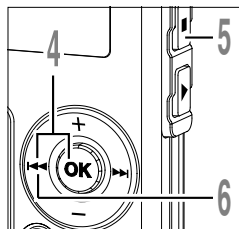
再生中のファイルを設定した秒数だけ戻って再生することができる機能で、短いフレーズを繰り返し再生するときに便利です。

1 「その他」画面で＋または－ボタンを押して「少し前再生」を選ぶ

「その他」については☞ P40、77をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

少し前再生の設定を始めます。

3 ＋または－ボタンを押して「OFF」、「1秒前」、「2秒前」から選ぶ

OFF…通常の頭出しを行います。
1秒前…1秒戻って再生を始めます。
2秒前…2秒戻って再生を始めます。

4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

5 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

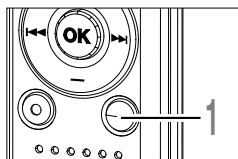
6 ファイルを再生中にI◀◀ボタンを押す

設定した秒数を戻って再生を始めます。

ご注意

- 少し前再生で「1 秒前」または「2 秒前」を設定すると、I◀◀ ボタンを押しても頭出しや、インデックスマークの位置に逆スキップしません。設定した時間（1 秒または 2 秒）だけ逆スキップを行います。

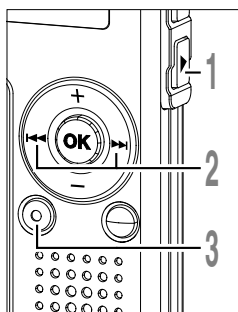
インデックスマークをつける

1 つのファイル内で聞きたい位置をすばやく探すことができるように、インデックスマークをつけることができます。インデックスマークがあると、再生中に早送りまたは早戻しボタンを操作することで、すばやく聞きたい位置から再生できます。

インデックスマークをつける

1 録音中または再生中にインデックスボタンを押してインデックスマークをつける

ディスプレイにインデックス番号が表示され、インデックスマークがつきます。

インデックスマークをつけた後も録音または再生は続きますので、同様の操作で別の場所にインデックスマークをつけることができます。

インデックスマークを消去する

1 消去したいインデックスマークのあるファイルを再生する

2 ▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押して消去したいインデックスマークを選ぶ

3 ディスプレイにインデックス番号が表示されている間(約2秒間)に消去ボタンを押す

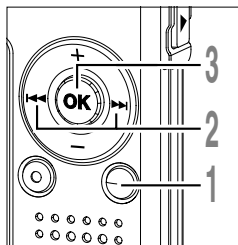
インデックスマークが消去されます。

消去したインデックスマーク以降のインデックス番号は自動的に繰り上がります。

ご注意

- インデックスマークは 1 つのファイル内に最大で 16 件までつけることができます。16 件を超えてインデックスマークをつけようとすると、「これ以上記録できません」と表示されます。
- 消去ロックをかけてあるファイルは、インデックスマークをつけたり消去することができません（☞ P36）。
- インデックスマークは本機、またはオリンパス製 IC レコーダーで録音した WMA ファイルに限り、つけることができます。
- 少し前再生で「1 秒前」または「2 秒前」を設定した状態で ⏮ ボタンを押すと、設定時間分だけ逆スキップします。

誤消去を防止（Lock）する

ファイルに消去ロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。
また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません（☞ P73）。

1 **フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ**

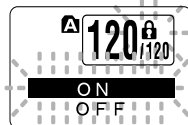
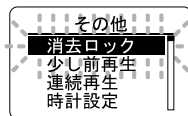
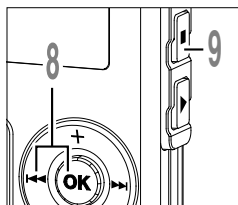
2 **▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押して消去ロックをかけたいファイルを選ぶ**

3 **OKボタンを1秒以上押す**
メニュー画面に入ります(☞ P40、76)。

4 **＋または－ボタンを押して「その他」を選ぶ**

5 **OKまたは▶▶Iボタンを押す**
ディスプレイに「消去ロック」が表示されます。

6 **OKまたは▶▶Iボタンを押す**
消去ロックの設定を始めます。

7 **＋または－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ**
ON…消去ロックがかかります。
OFF…消去ロックが解除されます。

8 **OK**または**I◀◀**ボタンを押して設定を完了する

9 **停止**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ⓐ 消去ロック表示

ディスプレイ表示をかえる

本機はディスプレイ表示の切り替えが可能です。ディスプレイ表示をかえることにより、ファイルに関する情報や本機の状態が確認できます。

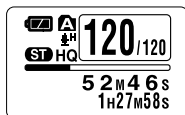
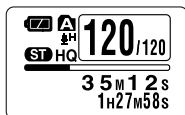
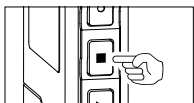
停止中・再生中の表示パターン

OKボタンを押す

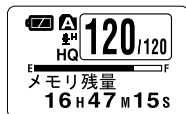
OKボタンを押すたびに、①から③を繰り返し表示します。ただしファイル数が0件のときは録音可能な残り時間を表示します。

① **ファイル長（カウントアップ表示）**
ファイルの長さ、再生経過時間をバー表示とカウントアップで表示します。

② **ファイル長（カウントダウン表示）**
ファイルの長さ、残り再生時間をバー表示とカウントダウンで表示します。

③ **タイムスタンプ**
録音した月･日･時･分を表示します。

停止中の表示パターン

停止ボタンを押し続ける

停止ボタンを押している間、①と②を1秒おきに表示し,停止ボタンを離すと元の表示に戻ります。

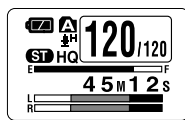
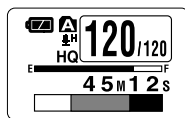
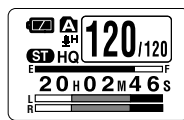
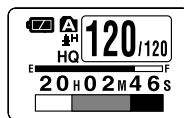
① **メモリ残量（残り時間表示）**
録音可能な残り時間を数字とメモリ残量バー（E/Fバー）で表示します。

② **メモリ残量（メモリ残量表示）**
録音可能なメモリ残量を数字とメモリ残量バー（E/Fバー）で表示します。

録音中の表示パターン

OKボタンを押す

OKボタンを押すたびに①と②を交互に表示します。

① 録音レベルメータ（カウントアップ表示）

音声の入力レベルをレベルメータで、メモリ残量をバー（E/Fバー）で表示し、録音経過時間をカウントアップで表示します。

ステレオ録音時

モノラル録音時

② 録音レベルメータ（カウントダウン表示）

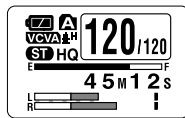
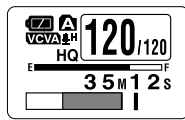
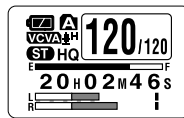
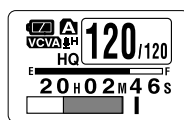
音声の入力レベルをレベルメータで、メモリ残量をバー（E/Fバー）で表示し、録音可能な残り時間をカウントダウンで表示します。

VCVA 中の表示パターン

OKボタンを押す

OKボタンを押すたびに①と②を交互に表示します。

① VCVA録音レベルメータ（カウントアップ表示）

音声の入力レベルと起動レベルをレベルメータで、メモリ残量をバー（E/Fバー）で表示し、録音可経過時間をカウントアップで表示します。（VCVA起動レベルに達していないときは「待機中」を表示）

ステレオ録音時

モノラル録音時

② VCVA録音レベルメータ（カウントダウン表示）

音声の入力レベルと起動レベルをレベルメータで、メモリ残量をバー（E/Fバー）で表示し、録音可能な残り時間をカウントダウンで表示します。（VCVA起動レベルに達していないときは「待機中」を表示）

メニューの一覧（音声レコーダー編）

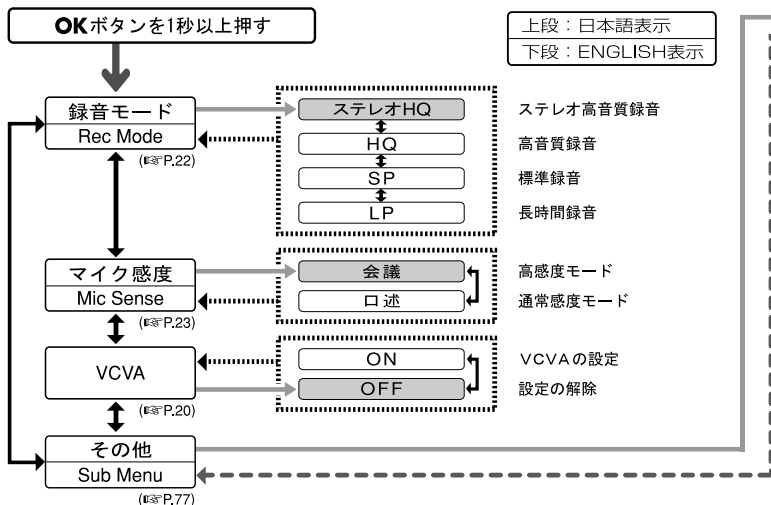
メニュー

OKボタンを1秒以上押す

上段：日本語表示
下段：ENGLISH表示

録音モード / Rec Mode (☞P.22)
- ステレオHQ — ステレオ高音質録音
- HQ — 高音質録音
- SP — 標準録音
- LP — 長時間録音

マイク感度 / Mic Sense (☞P.23)
- 会議 — 高感度モード
- 口述 — 通常感度モード

VCVA (☞P.20)
- ON — VCVAの設定
- OFF — 設定の解除

その他 / Sub Menu (☞P.77)

↕ ＋または－ボタンを押す／⇒ OK または ▶▶I ボタンを押す／◀┅ OK または I◀◀ ボタンを押す／◀--- I◀◀ ボタンを押す／⇐ OK ボタンを押す／◀━ OK ボタンを 1 秒以上押す／▭ 初期設定

ご注意

- 設定中に停止ボタン、録音ボタン、再生ボタンのいずれかを押すと、それまでに設定した項目を確定して停止状態になります。
- 設定中に3分間何も操作しない場合は、停止状態に戻ります。このとき選択途中の項目は設定されません。

その他(Sub Menu)

消去ロック
Lock
(☞P.36)
ON
OFF
消去ロックの実行
設定の解除
少し前再生
Back Space
(☞P.33)
OFF
1秒前
2秒前
設定の解除
1秒前に逆スキップ
2秒前に逆スキップ
連続再生
All Play
(☞P.30)
ON
OFF
連続再生の実行
設定の解除
時計設定
Time & Date
(☞P.14)
＜時刻日付設定画面＞
12時間表示／年・月・日
年・月・日・時・分の設定
初期化
Format
(☞P.82)
キャンセル
開始
初期化のキャンセル
本機の初期化
言語選択
Language
(☞P.81)
日本語
ENGLISH
日本語表示
英語表示
コントラスト
Contrast
(☞P.80)
＜コントラスト設定画面＞
06
コントラストの設定
バックライト
Backlight
(☞P.79)
ON
OFF
バックライトの点灯
設定の解除
ビープ音
Beep
(☞P.78)
ON
OFF
ビープ音の設定
設定の解除
システム情報
System
(☞P.84)
＜システム情報の画面＞
容量/モデル名/バージョン

ファイルをパソコンに保存する

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- 本機のファイルをパソコンに保存（バックアップ）したり、パソコンから本機にファイルを転送する
- パソコンで音声ファイルを再生する
  本機で録音した音声ファイルは、Windows Media Playerか、オリンパスのホームページから無償でダウンロードが可能な簡易再生用ソフトウェアDSS Player-Liteを使って、パソコン上で再生できます。DSS Player-Liteを使うと、音声ファイルにつけたインデックスマークの検索も可能です。また、Windows Media Playerを使ってパソコンに取り込んだWMAやMP3形式のファイルを転送し、本機でお楽しみいただけます。
  オリンパスホームページ、http://www.olympus.co.jp

本機をパソコンに接続して扱うときの注意事項

●本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードするときはパソコンから通信中の画面が消えても、本機の録音/再生表示ランプとUSBアクセス表示ランプが赤く点滅中はデータを転送中ですので、USB接続を外さないでください。また、USB接続を外す場合は、必ず☞P45に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。

●パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合は正しく初期化されません。初期化は、本機の「その他」画面から行ってください（☞P82）。

●「エクスプローラ」などのファイル管理ツールを使用して、本機内の音声フォルダ（DSS_FLDA～Eの5フォルダ）と音楽フォルダ（Music）および、各フォルダ内の管理用ファイルに対して、消去、移動、名前の変更などの操作は絶対に行わないでください。ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。

●パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。

●ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続するときは、外部マイクやイヤホンを外してください。

パソコンの動作環境

対応パソコン

DOS/V 機（IBM PC/AT 互換機）

OS（オペレーティングシステム）

Microsoft Windows Me/2000 Professional（以降 Windows 2000 と表記）/XP Professional,Home Edition（以降 XP と表記）

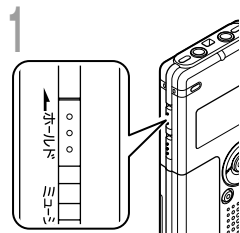
USB ポート

１つ以上の空き

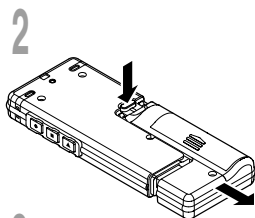
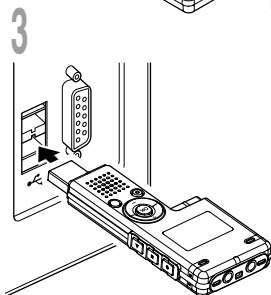
その他

音楽情報取得サイトへアクセスする場合はインターネットが利用できる環境

ご注意

- パソコンがUSBポートを備えていても、Windows 95 または 98 から Windows Me/2000/XP にアップデートした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。

パソコンに接続する

1 停止状態でホールドスイッチを「ホールド」側にし、本機の電源を切る

ディスプレイが消灯します。

2 背面のリリースボタンを押しながら電池部を切り離す

3 本機のUSB端子をパソコンのUSBポートまたはUSBハブに接続する

USB接続中は、本機のディスプレイに「PCと接続中です」と表示されます。

「マイコンピュータ」を開くと「リムーバブルディスク」ドライブとして認識されます。

ＰＣと接続中です

4 ファイルをパソコンに取り込む

本機の5つのフォルダは、パソコン上でそれぞれＤＳＳ_ＦＬＤ**Ａ**、ＤＳＳ_ＦＬＤ**Ｂ**、DSS_FLD**C**、DSS_FLD**D**、DSS_FLD**E**という名前で表示され、その中に録音した音声ファイルがWMA形式で保存されています。

データ
送信中・・・

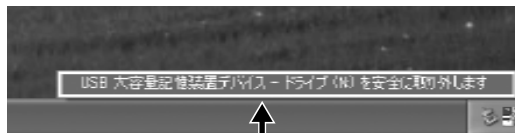
パソコン内のお好きなフォルダにコピーしてください。
データ通信中は「データ送信中」と表示され、録音/再生ランプとUSBアクセス表示ランプが赤く点滅します。
ファイルをダブルクリックすると、Windows Media Playerが起動し、再生を開始します。

ご注意

- 本体部と電池部を切り離した状態が長時間続いたり、短い間隔で繰り返して切り離す操作を行うと、時刻の設定が必要になることがあります（☞ P14）。
- Windows 2000をお使いの場合は、あらかじめWindows Media Playerをインストールする必要があります。

パソコンから外す

1 画面右下のタスクバーの をクリックし、[USB大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します]をクリックする

Windows Meでは[USBディスクードライブの停止]と表示します。お使いのパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。

2 ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら[OK]をクリックする

3 ディスプレイの消灯を確認してからUSB接続を外す

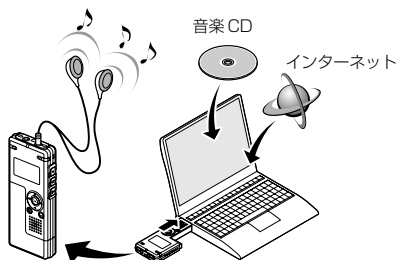
ご注意

- 録音/再生表示ランプとUSBアクセス表示ランプが赤く点滅中は、絶対にUSB接続を外さないでください。データが破損する可能性があります。
- パソコンのUSBポートまたはUSBハブについては、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- 必要に応じ、同梱品のUSB延長ケーブルをご使用ください。

音楽プレーヤーとして楽しむ

音楽ＣＤやインターネットからパソコンに取り込んだ音楽ファイルを本機に転送して再生することができます。本機はWMＡ形式、MP3形式の音楽ファイルに対応しています。音楽プレーヤーで再生するためには対応する音楽ファイルを本機の音楽用フォルダにパソコンから転送（コピー）する必要があります。

Windows Media Playerを使う

Windows Media Playerを用いると、音楽ＣＤから音楽ファイルを変換（リッピング）したり（☞ P49）、音楽配信サイトで購入した音楽ファイルを簡単に本機に転送することができます（☞ P50）。

著作権と著作権保護機能(DRM)について

著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音声や音楽ファイル、音楽CDなどの複製や配布、インターネットへの掲載、再掲載、商用または販売を目的としたWMA やMP3 ファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。

WMA ファイルには著作権の保護を目的とした DRM（Digital Right Management）が施されている場合があります。DRM が施されているファイルは音楽 CD から変換（リッピング）した音楽ファイルや音楽配信によって入手した音楽ファイルを不法にコピーしたり、配布できないよう制限されています。DRM の施された WMA ファイルを本機に転送するには Windows Media Player を用いるなど所定の方法で転送する必要があります。また、音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。

ご注意

- 本機は Microsoft Corporation の PD-DRM に対応していますが、JANUS には未対応です。

ウィンドウのなまえ

Windows Media Player 10

① 機能タスクバー
② クイックアクセスパネルボタン
③ 位置スライダ
④ 巻き戻しボタン
⑤ 再生ボタン
⑥ 停止ボタン
⑦ 前へボタン
⑧ 次へボタン
⑨ ミュートボタン
⑩ 音量スライダ
⑪ ランダム再生 / 連続再生ボタン
⑫ 早送りボタン

Windows Media Player 9

① 機能タスクバー
② 位置スライダ
③ 巻き戻しボタン
④ 再生ボタン
⑤ 停止ボタン
⑥ 前へボタン
⑦ 次へボタン
⑧ ミュートボタン
⑨ 音量スライダ
⑩ クイックアクセスボックス
⑪ 早送りボタン

CD から音楽をコピーする

1 CDをCD-ROMドライブに挿入し Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから[取り込み]メニューをクリックする

Windows Media Player 9のときは機能タスクバーから[CDから録音]メニューをクリックします。

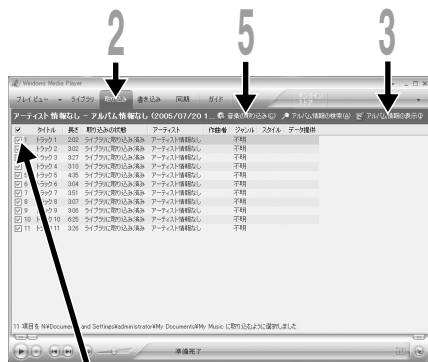
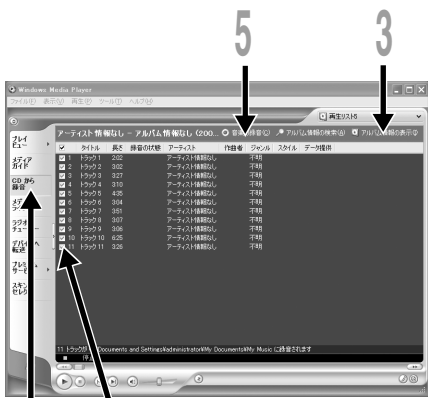
3 [アルバム情報の表示]をクリックする

インターネットに接続できる場合はCDの情報検索します。

4 コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける

5 [音楽の取り込み]をクリックする

Windows Media Player 9のときは[音楽の録音]をクリックします。

パソコンにコピーされたファイルはWMA形式で保存されます。コピーされた音楽ファイルはアーティスト、アルバム、ジャンルなどに分類されてプレイリストに追加されます。

Windows Media Player 10

Windows Media Player 9

音楽ファイルを本機に転送する

パソコンに保存した音楽ファイルを本機に転送できます。CDからパソコンに音楽ファイルをコピーする方法は「CD から音楽をコピーする」をご覧ください (☞P49)。

Windows Media Player 10

1 **本機をパソコンに接続しWindows Media Player を起動する**

2 **機能タスクバーから[同期]メニューをクリックする**

3 **左側のプルダウンメニューから本機に転送するプレイリストを選択し、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける**

表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ＆ドロップすると曲順を変更できます。

4 **右側のプルダウンメニューから本機に対応するドライブを選択する**

通常本機はリムーバブルディスクとして認識されます。

5 **右上のをクリックして、同期オプションを設定する**

[デバイスにフォルダ階層を作成する]にチェックを入れます。*

アーティスト名やアルバム名のフォルダが自動的に作成されますので、聴きたいファイルなどの検索がしやすくなり、便利です。

* フォルダが自動作成されない場合がありますので、[デバイスにフォルダ階層を作成する]に初期状態でチェックが入っている場合は、一旦、チェックを外してから再度チェックを入れ直してください。

6 [同期の開始]をクリックする

ファイルが本機に転送されます。本機に転送された音楽ファイルはデバイス上の項目に表示されます。

語学学習用ファイルを音楽フォルダに転送後、「エクスプローラ」などを使ってお好みの音声フォルダ(DSS_FLDA〜E)に転送またはコピーすると、部分リピート、早聞き、遅聞き、少し前再生などの機能がご利用いただけます。

Windows Media Player 9

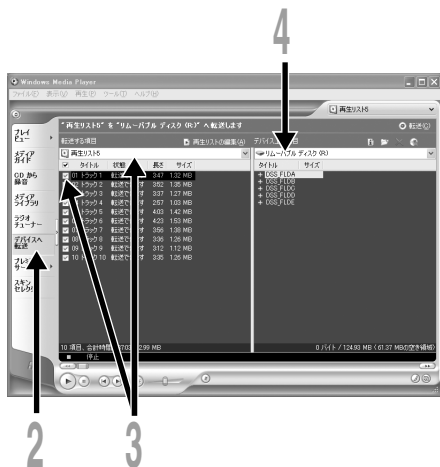
1 本機をパソコンに接続しWindows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから[デバイスへ転送]メニューをクリックする

3 転送する項目から本機に転送するプレイリストを選択し、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける

表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ&ドロップすると曲順を変更できます。

4 デバイス上の項目から本機に対応するドライブを選択する

通常本機はリムーバブルディスクとして認識されます。

5 転送先のフォルダを選択する

「Root」フォルダに転送する場合

デバイス上の項目の空欄部分(本機ドライブのルート)を選択します。

「Music」フォルダに転送する場合

「Music」フォルダを選択します。あらかじめ「Music」フォルダ内に、「アーティスト名」や「アルバム名」フォルダを作成しておくと、管理しやすくなります(「Music」フォルダには2階層までフォルダを作成することができます)(☞ P53)。

音声フォルダに転送する場合

DSS_FLDA〜Eのお好きなフォルダを選んでください。
(部分リピート、早聞き、遅聞き、少し前再生などの機能がご利用いただけます。語学学習などに便利です。)

6 [転送]をクリックする

ファイルが本機に転送されます。本機に転送された音楽ファイルはウインドウ上の項目に表示されます。

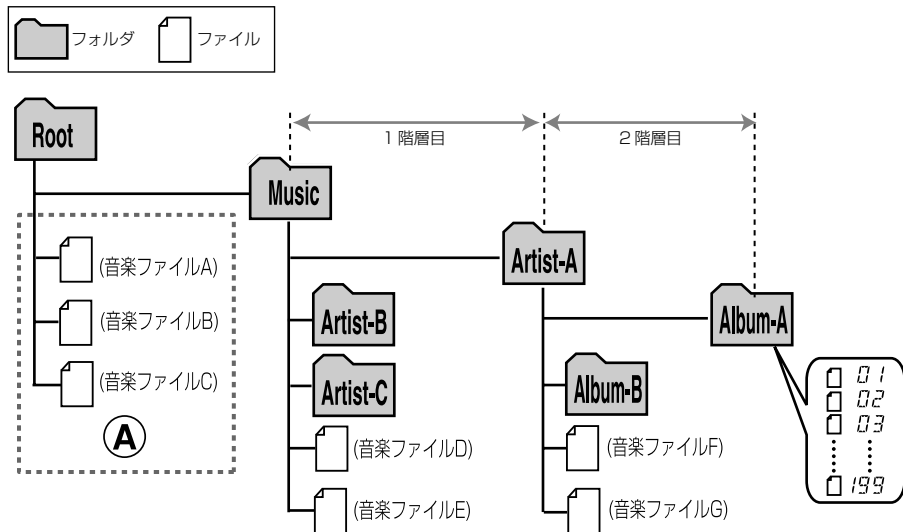
ご注意

- 音楽配信サービスなどで購入されたDRM付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。
- 詳細は各Windows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。
- 音楽ファイルをメモリ容量いっぱいまで転送すると、本機のディスプレイに「管理ファイルが作成できません。PCに接続して不要なファイルを消去してください」と表示される場合があります。その場合はファイルを消去して、管理ファイルの空き容量（数百KB〜数十MB)を確保してください。（管理ファイルの容量は音楽ファイルの数が増えるほど、多く必要になります。）

音楽フォルダについて

本機には「Root」と、その中にある「Music」の２つの音楽用フォルダがあり、パソコンから転送した音楽ファイル(WMA、MP3 ファイル）を保存することができます。
また、本機は「Music」フォルダ内に２階層までフォルダを作成できますので、同じアーティスト名で複数のアルバムを管理するときなどに便利です。1フォルダにつき最大199ファイルまで入れることができます。

フォルダ　ファイル

Root
Music
1 階層目
2 階層目
Artist-A
Artist-B
Artist-C
Album-A
Album-B
(音楽ファイルA)
(音楽ファイルB)
(音楽ファイルC)
Ⓐ
(音楽ファイルD)
(音楽ファイルE)
(音楽ファイルF)
(音楽ファイルG)
▢ 01
▢ 02
▢ 03
▢ 199

ご注意

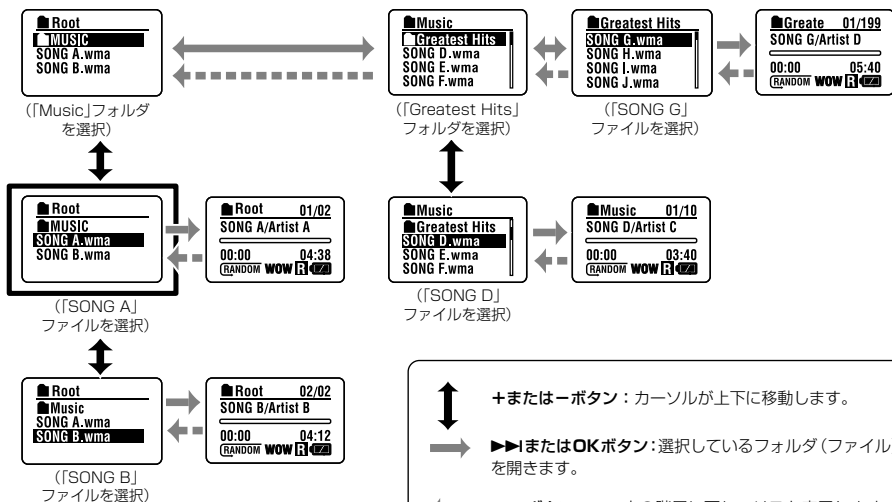
- 本機で操作できるフォルダは「Root」と「Music」を含め最大 128 フォルダです。
- Windows Media Player10 の場合、同期オプションを設定せずに「同期の開始」を押すと、上図 Ⓐ のところにすべてのファイルが転送されます。(☞ P50)

フォルダとファイルの選択について

リスト表示画面

本機に記録されているフォルダとファイルがリスト表示されます。

ファイル表示画面

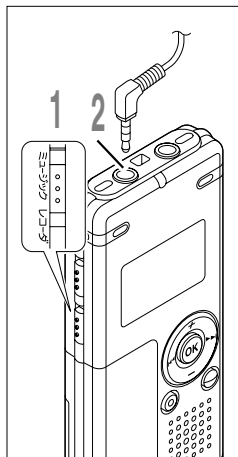
選択したファイルの情報が表示されます。再生待機状態になります。

＋または－ボタン：カーソルが上下に移動します。

▶▶|またはOKボタン：選択しているフォルダ（ファイル）を開きます。

|◀◀ ボタン：一つ上の階層に戻り、リスト表示します。

フォルダボタン：一つ上の階層に戻り、リスト表示します。

音楽を再生する

本機はWMA形式、MP3形式の音楽ファイルに対応しています。音楽プレーヤーで再生するためには対応する音楽ファイルを本機の音楽用フォルダにパソコンから転送(コピー)する必要があります(☞ P50)。

1 モードスイッチを「ミュージック」側にする(☞ P16)

フォルダやファイルリストが表示されます。

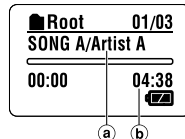
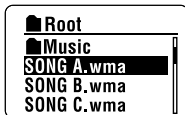
Root
Music
SONG A.wma
SONG B.wma
SONG C.wma

2 本機のイヤホンジャックにステレオイヤホンを差し込む

3 再生したい音楽ファイルを選ぶ

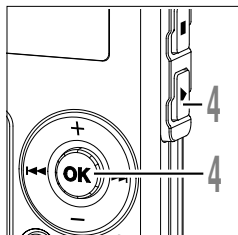
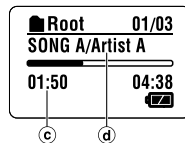
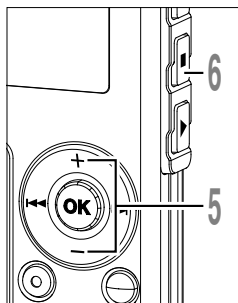
リスト表示画面で再生したいファイルにカーソルを合わせるか、ファイル表示画面にします。

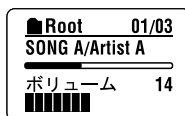
ファイル表示画面で▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押し続けると、現在のフォルダ内のファイルを連続して頭出しします。

ⓐ 選択中のファイル
ⓑ 選択中のファイルの曲長

ファイル表示画面からリスト表示画面に戻る、またはリスト画面表示でその1つ上の階層のリスト表示に戻る場合には、フォルダボタンを押します。

4 再生またはOKボタンを押して再生を開始する

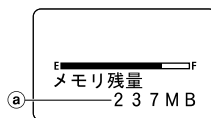
1行で表示できない曲名／アーティスト名は左にスクロールしながら表示します。

ⓒ 現在の再生時間
ⓓ 再生中の曲名／アーティスト名

5 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする

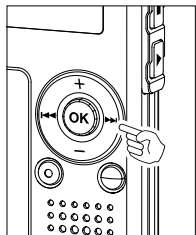
ディスプレイにボリュームレベルが31段階(0〜30)で表示されます。

6 停止またはOKボタンを押して再生を停止する

再生していたファイルの途中で停止します。再生またはOKボタンを押すと、停止していたところから再生を開始します。

1曲を再生し終わると次の曲が自動的に再生されます。また本機が停止中に停止ボタンを押し続けると、メモリ残量が表示されます

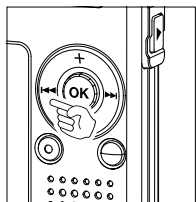
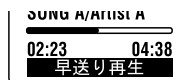
ⓐ メモリ残量表示

ご注意

- 本機で再生可能なファイルのビットレートは WMA、MP3 形式ともに 5kbps 〜 256kbps です。
- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換させる）の MP3 ファイル再生も可能ですが、正常に動作しない場合があります。
- イヤホンで聞くときは音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。
- イヤホンを接続していない場合は本機スピーカから音が出ますがモノラル再生となります。
- 曲名とアーティスト名は各 40 文字まで表示可能です。

早送り・早戻しをするには

早送り

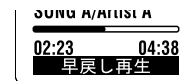
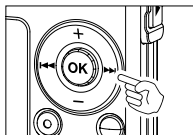
再生中に ▶▶| ボタンを押し続ける。

➥ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶| ボタンを押し続けると、「再生モード」（☞ P60）で選んだ再生範囲で早送りを続けます。「ランダム再生」（☞ P62）が「ON」に設定中はランダムにファイルの早送りを続けます。

早戻し

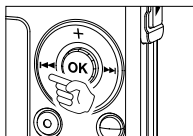
再生中に |◀◀ ボタンを押し続ける

➥ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに |◀◀ ボタンを押し続けると、「再生モード」で選んだ再生範囲で早戻しを続けます。「ランダム再生」が「ON」の場合は、ランダムにファイルの早戻しを続けます。

再生中に曲の頭出しをする

再生中に ▶▶I ボタンを押す。

➡ 次のファイルの頭出しをして、再生を始めます。

- 「再生モード」（☞ P60）で選んだ再生範囲で頭出しを行います。「ランダム再生」（☞ P62）が「ON」の場合、ランダムに次のファイルの頭出しを行います。

再生中に I◀◀ ボタンを押す。

➡ 再生中のファイルの頭出しをして、再生を始めます。

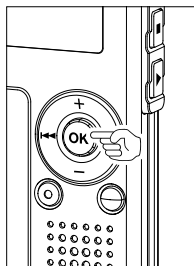
再生中に I◀◀ ボタンを 2 回押す。

➡ 1 つ前のファイルの頭出しをして、再生を始めます。

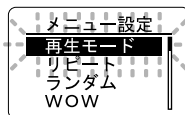
- 「ランダム再生」が「ON」の場合、ランダムにファイルの頭出しを行います。

最終ファイルの終わりまで再生または早送りすると

最終ファイルの終わりまで到達すると、先頭のファイルの頭に戻って停止します。「ランダム再生」が「ON」の場合、ランダム再生を始めたファイルの頭に戻って停止します。「再生モード」で「全曲」を選ぶと、本機内のすべてのファイルを連続で再生することができます。

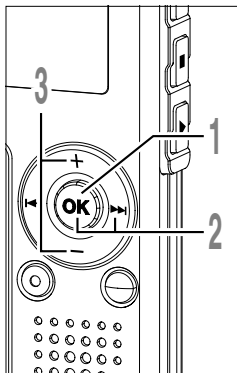
再生中のメニュー設定

ミュージックモードでは、再生に関する下記の機能を備えており、再生中でも下記の設定が可能です。

再生中に**OK**ボタンを1秒以上押す

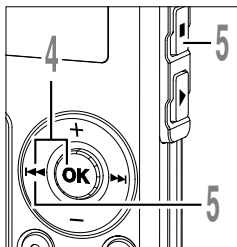
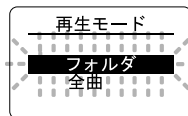
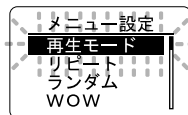
➡ 再生を継続したままメニュー設定に入り、再生に関する下記の設定が行えます。各メニューの設定方法に関しては、参照頁をご覧ください。

- 設定中に再生ボタンを押すか、8秒間操作を行わないと、メニュー設定が終了します。

再生モード：　フォルダ / 全曲（☞ P60）
リピート再生：　OFF/ON/ 1曲（☞ P61）
ランダム再生：　ON/OFF（☞ P62）
WOW：　設定（☞ P63）
イコライザー：　設定（☞ P65）

再生モード（Play Mode）を選ぶ

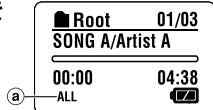
２種類の再生モードを設定することができます。
フォルダ単位で再生するか、本機にある全曲を再生するかお選びいただけます。

1 OKボタンを1秒以上押す
ディスプレイに「再生モード」が表示されます（☞ P70、76）。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す
再生モードの設定を始めます。

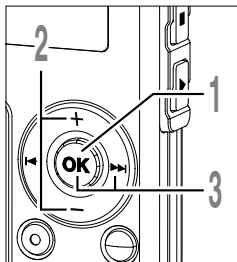
3 ＋または－ボタンを押して「フォルダ」か「全曲」を選ぶ
フォルダ…フォルダ内の音楽ファイルのみを再生します。
全曲…本機内のすべての音楽ファイルを再生します。

4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する
全曲を選んだ場合、ディスプレイにALLが表示されます。

ⓐ 再生モード表示

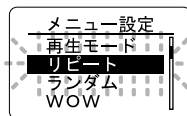
5 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 設定中に３分間操作を行わないと停止状態に戻ります。
- 全曲を選んだ場合は、フォルダ内にあるファイルを再生した後、次のフォルダにあるファイルの再生を始めます。

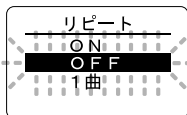
リピート再生（Repeat）のしかた

「再生モード」（☞ P60)で設定した範囲の音楽ファイルの繰り返し再生が設定できます。

1 OKボタンを1秒以上押す

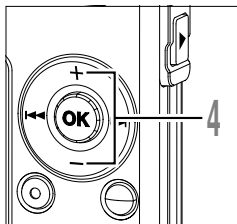
メニュー画面に入ります(☞ P70、76)。

2 ＋または－ボタンを押して「リピート」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

リピートの設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「ＯＮ」、「OFF」、「１曲」から選ぶ

ON…再生モードで選んだ範囲の音楽ファイルを繰り返し再生します。

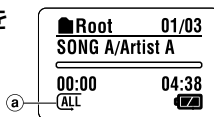
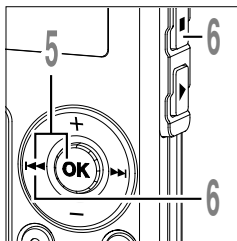
OFF…設定を解除します。

1曲…選択した1つのファイルを繰り返し再生します。

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

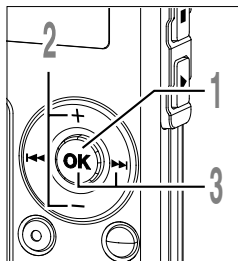
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ リピート再生表示

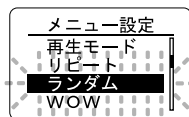
6 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 設定中に３分間操作を行わないと停止状態に戻ります。
- 「リピート」と「ランダム」が両方 ON の場合は、ランダムに繰り返し再生となります。

ランダム再生（Random）のしかた

「再生モード」（☞ P60)で設定した範囲の音楽ファイルのランダム再生が設定できます。

1 OKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P70、76)。

2 ＋または－ボタンを押して「ランダム」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

ランダムの設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

ON…再生モードで選んだ範囲の音楽ファイルをランダムに再生します。

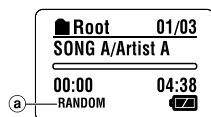
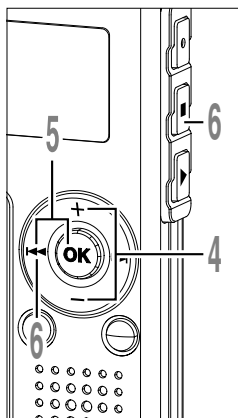
OFF…設定を解除します。

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

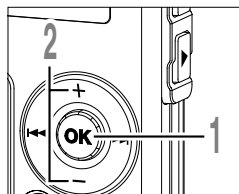
ⓐ ランダム再生表示

6 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

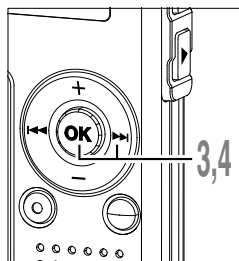
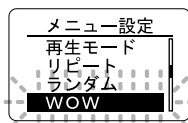
ご注意

- 設定中に３分間操作を行わないと停止状態に戻ります。
- 「再生モード」で全曲を選んだ場合は、フォルダ内にあるファイルをランダムに全曲再生した後、ランダムにフォルダを選んで、そのフォルダ内のファイルのランダム再生を始めます。
- 「リピート」と「ランダム」が両方ONの場合は、ランダムに繰り返し再生となります。

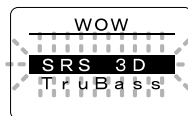
臨場感（WOW）を高める

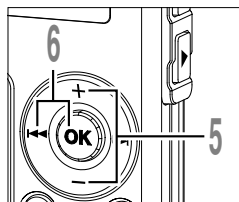
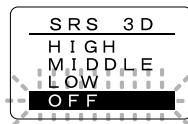
本機は音楽の臨場感を高めるための音響技術であるWOWを搭載しています。音楽のジャンルやお好みに合わせ、サラウンド効果（SRS 3D）とバス効果（TruBass）をそれぞれ４段階にレベル調整できます。

サラウンド効果（SRS 3D）......... 音のひろがり感やクリア感を高めることができます。
バス効果（TruBass）.................... 低音域をより豊かにできます。

1 OKボタンを1秒以上押す

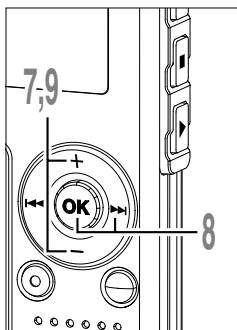
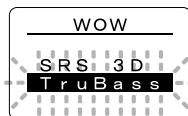
メニュー画面に入ります(☞ P70、76)。

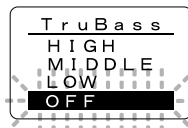
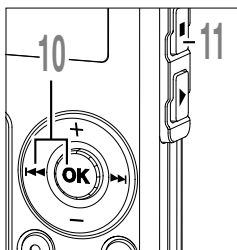
2 ＋または－ボタンを押して「WOW」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

ディスプレイに「SRS 3D」が表示されます。

4 もう一度OKまたは▶▶Iボタンを押す

サラウンド効果(SRS 3D)の設定を始めます。

5 ＋または－ボタンを押してお好みのサラウンド効果のレベルを選ぶ

6 OKまたはI◀◀ボタンを押してお好みのサラウンド効果を確定する

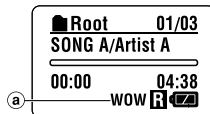
「SRS 3D」、「TruBass」選択画面に戻ります。

7 **＋または−ボタンを押して「TruBass」を選ぶ**

8 **OKまたは▶▶Iボタンを押す**

バス効果(TruBass)の設定を始めます。

9 **＋または−ボタンを押してお好みのバス効果のレベルを選ぶ**

10 **OKまたはI◀◀ボタンを押してお好みのバス効果を確定する**

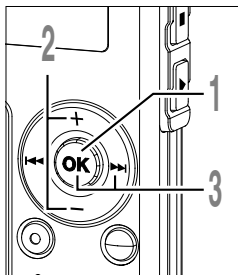
「SRS 3D」､「TruBass」選択画面に戻ります。

11 **停止ボタンを押してメニュー画面を終了する**

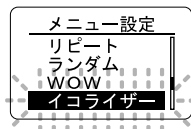
ⓐ WOW 再生表示

ご注意

- 設定中に３分間操作を行わないと停止状態に戻ります。
- WOW の初期設定はサラウンド効果、バス効果ともに OFF となっています。
- サラウンド効果、バス効果のどちらかでも設定されていると、ディスプレイに「WOW」が表示されます。
- ビットレートが 32kbps 以下の音楽ファイルでは WOW の効果は弱くなります。
- 曲により、WOW の効果が強調され、ノイズのように聞こえる場合があります。そのときは WOW の効果を調整してください。

イコライザー（EQ）を選ぶ

イコライザーの設定をかえると、お好みの音質で音楽を楽しめます。

1 OKボタンを1秒以上押す

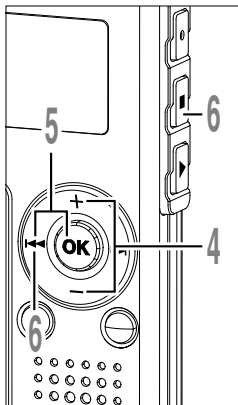
メニュー画面に入ります（☞ P70、76）。

2 ＋または－ボタンを押して「イコライザー」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

イコライザーの設定を始めます。

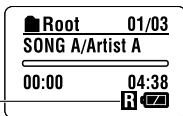
4 ＋または－ボタンを押してお好みのイコライザー特性を選ぶ

FLAT ↔ ROCK ↔ POP ↔ JAZZ ↔ USER

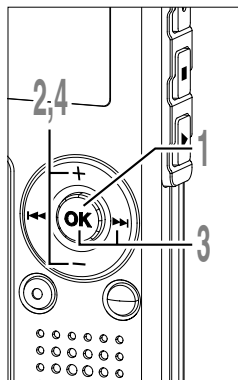
「USER」を選択した場合、P66の手順5以降を設定してください。

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

6 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

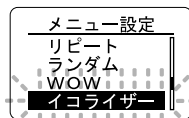
ⓐ イコライザー表示

ご注意

- 設定中に３分間操作を行わないと停止状態に戻ります。
- イコライザーの初期設定は FLAT になっています。

ユーザーイコライザーを登録する場合

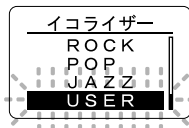
ユーザーイコライザーを設定すると、お好みのイコライザー特性を登録できます。

1 OKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P70、76)。

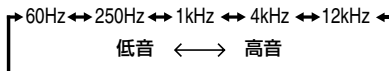
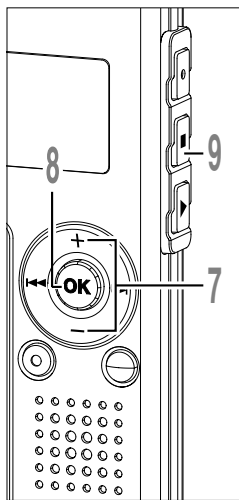
2 ＋または－ボタンを押して「イコライザー」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

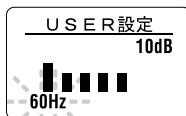
イコライザーの設定を始めます。

4 ＋または－ボタンを押して「USER」を選ぶ

USERの設定を始めます。

5 ▶▶Iボタンを押す

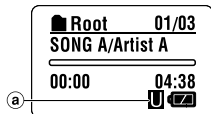
周波数帯の設定を始めます。

6 ▶▶I またはI◀◀ ボタンを押して周波数帯域を選ぶ

7 ＋または－ボタンを押してレベルを選ぶ

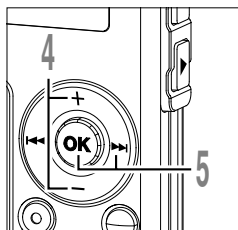
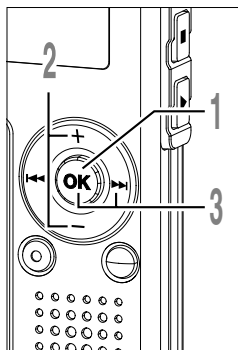
レベルの設定を始めます。
－10dBから10dBまで、1dBごとに切り替わり、数字が大きいほど強調されます。初期設定は0dBになっています。他の周波数帯域を変更する場合は、引き続き▶▶Iまたは I◀◀ ボタンを押し、手順6から設定を始めます。

8 OKボタンを押して設定を完了する

9 停止または I◀◀ ボタンを押してメニュー画面を終了する

ⓐ ユーザーイコライザー表示

ご注意

- 設定中に３分間操作を行わないと停止状態に戻ります。
- 登録したユーザーイコライザーの設定は、電池交換を行なっても保存されています。

曲順を入れ替える（Move）

フォルダ内にある音楽ファイルの再生順を変更することができます。あらかじめ再生順を変更したいフォルダ（ファイル）を選択しておきます。

1 OKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P70、76)。

2 ＋または－ボタンを押して｢曲順入れ替え｣を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

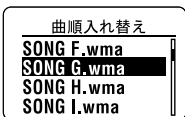
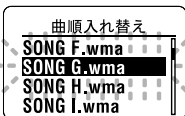
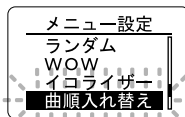
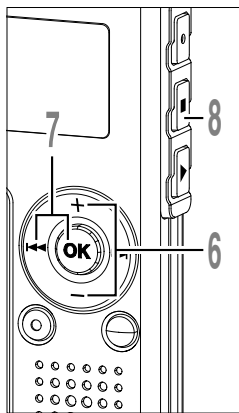
現在のフォルダ内のファイルをリスト表示します。

曲順入れ替え
SONG F.wma
SONG G.wma
SONG H.wma
SONG I.wma

4 ＋または－ボタンを押してファイルを選ぶ

曲順入れ替え
SONG F.wma
SONG G.wma
SONG H.wma
SONG I.wma

5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

カーソルが点滅表示し移動対象ファイルとして確定します。

6 ＋または－ボタンを押して移動したい場所を選ぶ

7 OKまたは⏮ボタンを押す

引き続き入れ替えたいファイルがある場合は、再度手順4～7の操作を行ってください。

8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

OKボタンを1秒以上押すと、入れ替えを完了して「曲順入れ替え」の表示に戻ります。

ご注意

- 設定中に３分間操作を行わないと停止状態に戻ります。

メニューの一覧（音楽プレーヤー編）

メニュー

OKボタンを1秒以上押す

上段：日本語表示
下段：ENGLISH表示

再生モード / Play Mode (☞P.60)
- フォルダ — フォルダ再生の設定
- 全曲 — 全曲再生の設定

リピート / Repeat (☞P.61)
- ON — リピート再生の設定
- OFF — 設定の解除
- 1曲 — １曲リピートの設定

ランダム / Random (☞P.62)
- ON — ランダム再生の設定
- OFF — 設定の解除

WOW (☞P.63)
- SRS 3D
- TruBass
  - OFF / HIGH / LOW / MIDDLE

イコライザー / EQ (☞P.65)
- FLAT
- ROCK
- POP
- USER
- JAZZ

＜周波数・レベルの設定画面＞

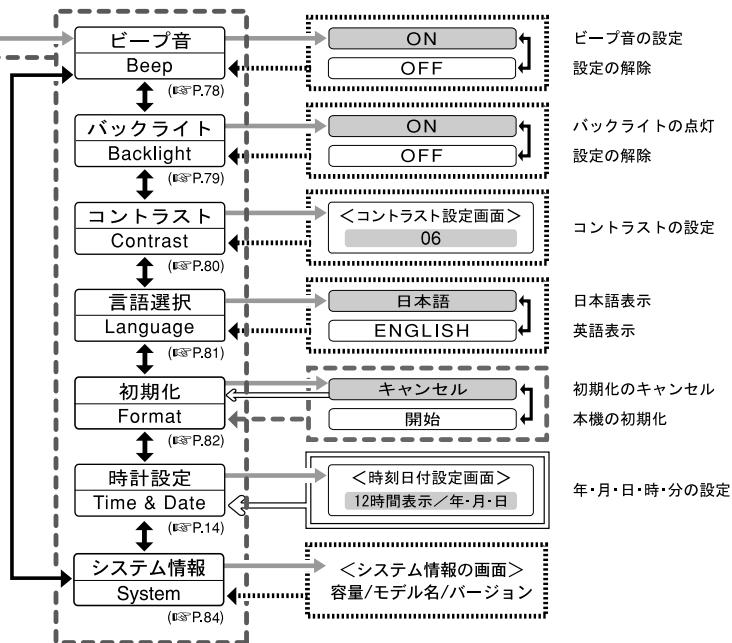
曲順入れ替え / Move (☞P.68)

＜曲順の入れ替え画面＞

移動対象ファイルを選択中は、
⏮ボタンを押すと画面が戻ります。

その他 / Sub Menu (☞P.77)

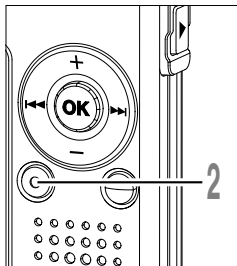
↕ ＋または－ボタンを押す／➡ OKまたは⏭ボタンを押す／⇨ ⏭ボタンを押す／◀┅ OKまたは⏮ボタンを押す／◀- - - ⏮ボタンを押す／⇦ OKボタンを押す／⬅ OKボタンを１秒以上押す／▭ 初期設定

その他（Sub Menu）

ご注意

- 上記は、本機が停止状態から入った場合のメニュー一覧です。音楽ファイルの再生中は、OK ボタンを 1 秒以上押すことでメニュー画面を表示して、「再生モード」「リピート」「ランダム」「WOW」「イコライザー」の各項目が設定できます。ただし、設定中に再生ボタンを押したり、8秒間何も操作しないと再生画面に戻ります。
- 設定中に停止ボタン、録音ボタン、再生ボタンのいずれかを押すと、それまでに設定した項目を確定して停止状態になります。
- 設定中に3分間何も操作しない場合は、停止状態に戻ります。このとき選択途中の項目は設定されません。

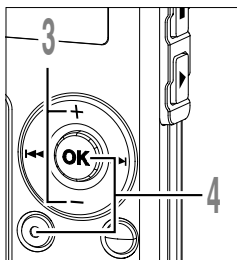
消去する

ファイルを 1 件ずつ消去する

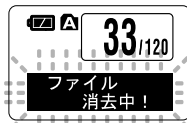
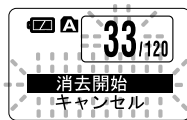
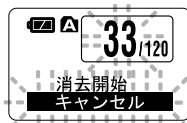
フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。

1 消去したいファイルを選ぶ

停止状態で消去したいファイルを表示するか、リスト表示画面で消去したいファイルにカーソルを合わせます。

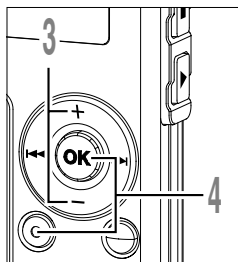
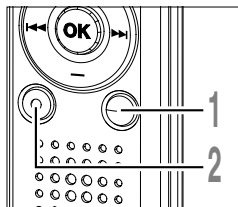
2 消去ボタンを押す

「キャンセル」が点滅します。

3 ＋または－ボタンを押して「消去開始」を選ぶ

4 消去またはOKボタンを押す

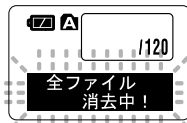
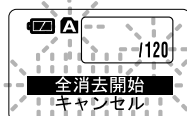
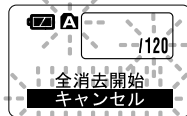
ディスプレイが「ファイル消去中!」にかわり、消去を開始します。

「消去完了」と表示されたら終了です。
消去したファイル以降のファイル番号は自動的に繰り上がります。

フォルダ内のファイルをすべて消去する

選んだフォルダ内のファイルすべてを消去できます。
ただし消去ロック設定（☞ P36）のあるファイルや、パソコンで読み取り専用に設定したファイルは消去されません。

1 全消去したいフォルダを選ぶ

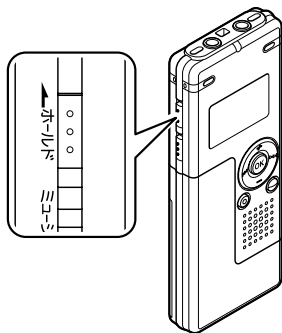
2 **消去**ボタンを3秒以上押す
「キャンセル」が点滅します。

3 ＋または－ボタンを押して「全消去開始」を選ぶ

4 **消去**または**OK**ボタンを押す
ディスプレイが「全ファイル消去中!」にかわり、消去を開始します。

「消去完了」と表示されたら終了です。
消去ロック設定のファイルや読み取り専用ファイルは、ファイル番号の小さい順にあらためて「1」からファイル番号がつきます。

ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻すことができません。
- 消去ロック設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません（☞ P36）。
- 消去モード画面の表示が点滅してから8秒以内に消去またはOKボタンが押されないと停止状態に戻ります。
- 消去を完了するまで数十秒かかることがあります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

誤操作を防止する - ホールド機能

ホールドにすると現在の状態を保ち、ボタンやスイッチ操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたとき、誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運ぶときなどに便利です。

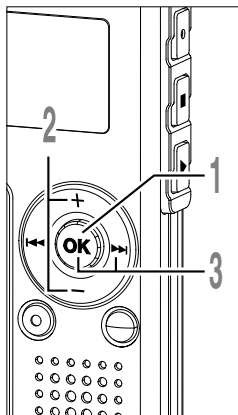
使用するときは必ずホールドスイッチを解除してください。

ご注意

- 停止状態でホールドにするとディスプレイが消灯します。このときいずれかのボタンを押すと、時計表示が約２秒間点滅しますが、動作しません。
- 再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生(録音）状態のまま操作ができなくなります。（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります。）

メニューの設定のしかた

メニューリスト(☞ P40、70)の各項目は次の方法で設定が可能です。

メニューの設定

1 OKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P40、70)。

2 +または−ボタンを押して設定したい項目に移動する

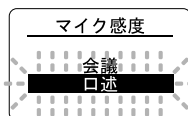
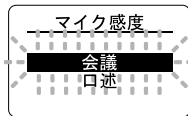
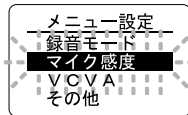
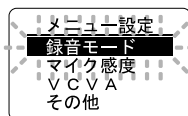
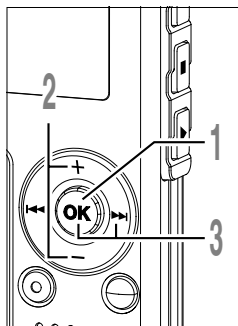
3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

選択した項目の設定に移動します。「その他」が選択されていれば、「その他」の項目に移動します(☞ P40、70、77)。

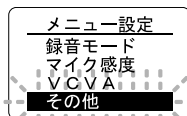
I◀◀ボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

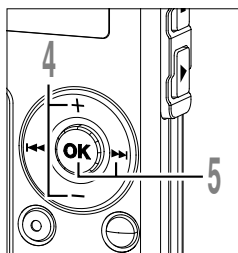
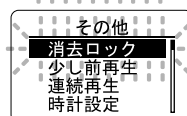
4 +または−ボタンを押して設定を変更する

5 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定内容を確定する

6 停止またはI◀◀ボタンを押してメニュー画面を終了する

その他（Sub Menu）の設定

1 OKボタンを1秒以上押す

メニュー画面に入ります(☞ P40、70、76)。

2 ＋または－ボタンを押して「その他」を選ぶ

3 OKまたは▶▶Iボタンを押す

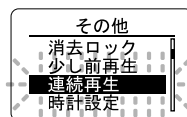
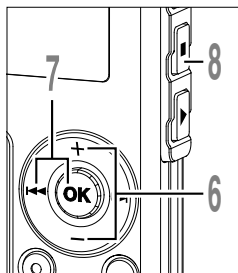
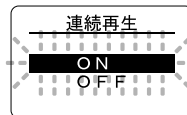
「その他」画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して設定したい項目に移動する

その他
消去ロック
少し前再生
連続再生
時計設定

5 OKまたは▶▶Iボタンを押す

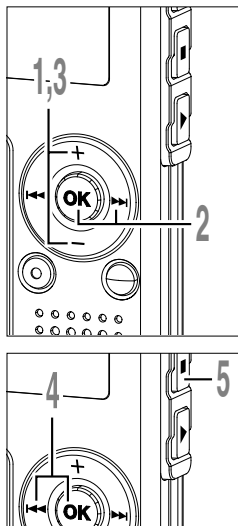
選択した項目の設定に移動します。

I◀◀ボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

連続再生
ON
OFF

6 ＋または－ボタンを押して設定を変更する

7 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定内容を確定する

8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ビープ音（Beep）について

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。
ビープ音を出したくないときは鳴らないように設定することもできます。

1 「その他」画面で＋または－ボタンを押して「ビープ音」を選ぶ

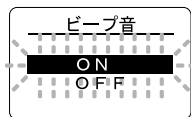
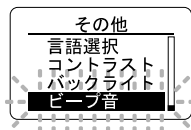
「その他」については（☞ P40、70、77）をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

ビープ音の設定を始めます。

3 ＋または－ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

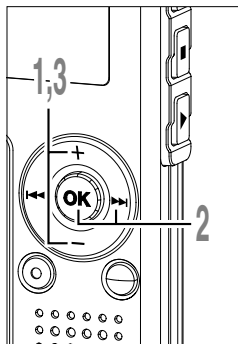
4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

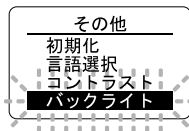
5 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ビープ音の種類

音	内容
ピッ	再生や録音の開始、表示の切り替え
ピピッ	各種の設定
プップッ	録音の一時停止
ププッ	再生や録音の停止、頭出しの停止、連続頭出しの停止
プッ	頭出し

音	内容
ポッ	前のファイルへの頭出し
ピピピピッ	誤操作の警告
ププーププー	操作の終わり
プー	録音可能な残り時間がわずかなときの警告（☞ P18）

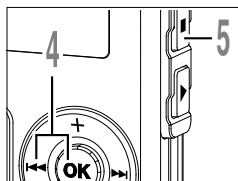
バックライト(Backlight)について

ボタンを押すたびにディスプレイのバックライトが約10秒間点灯するので、暗いところでも表示が確認できて便利です。

1 「その他」画面で+または−ボタンを押して「バックライト」を選ぶ

「その他」については(☞ P40、70、77)をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

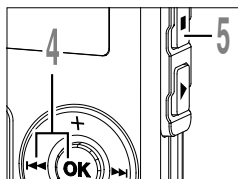
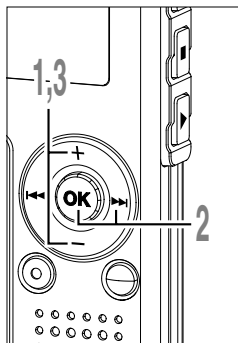
バックライトの設定を始めます。

3 +または−ボタンを押して「ON」か「OFF」を選ぶ

ON…バックライトを設定します。
OFF…バックライトを解除します。

4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

5 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ディスプレイのコントラスト（Contrast）を調整する

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

1 「その他」画面で＋または－ボタンを押して「コントラスト」を選ぶ

「その他」については（☞ P40、70、77）をご覧ください。

その他
時計設定
初期化
言語選択
コントラスト

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

コントラストの設定を始めます。

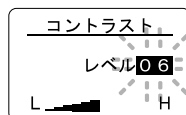
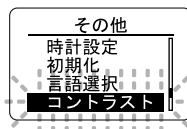
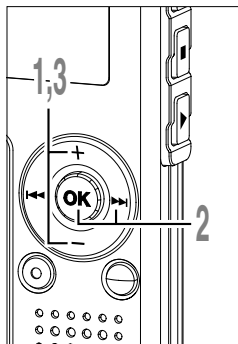
3 ＋または－ボタンを押してレベルの調整をする

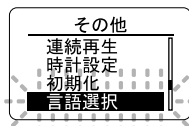
「1」から「12」の間で調整を行います。

コントラスト
レベル 0 6
L H

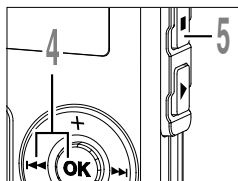
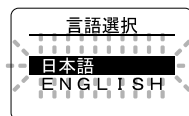
4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

5 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

言語選択（Language）のしかた

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選ぶことができます。

1 「その他」画面で＋または－ボタンを押して「言語選択」を選ぶ

「その他」については（☞ P40、70、77）をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

言語選択の設定を始めます。

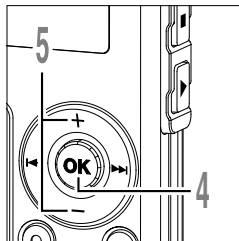
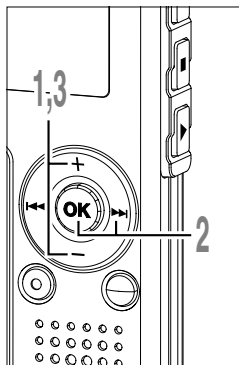
3 ＋または－ボタンを押して「日本語」か「ENGLISH」を選ぶ

4 OKまたはI◀◀ボタンを押して設定を完了する

5 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるフォルダ名やファイル名の言語がかわることはありません。

初期化（Format）する

初期化すると記録されているファイルはすべて消去され、年月日時分の設定を残し、各機能の設定が購入時の状態に戻ります。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

1 「その他」画面で＋または−ボタンを押して「初期化」を選ぶ

「その他」については（☞ P40、70、77）をご覧ください。

2 OKまたは▶▶Iボタンを押す

キャンセルが点滅します。

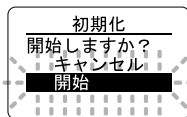
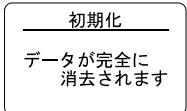
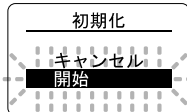
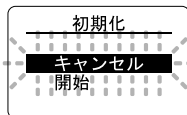
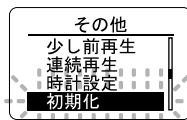
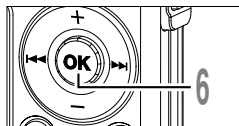
3 ＋または−ボタンを押して「開始」を選ぶ

開始が点滅します。

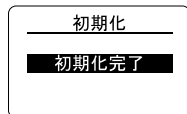
4 OKボタンを押す

「データが完全に消去されます」を2秒間点灯後、「キャンセル」が点滅します。

5 ＋または−ボタンを押してもう一度「開始」を選ぶ

開始が点滅します。

5 初期化する

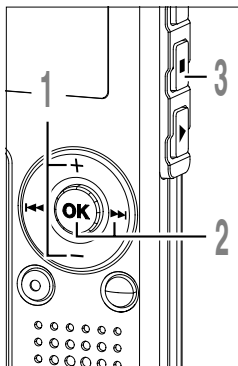
6 OKボタンを押す

表示が点滅して初期化を開始します。

「初期化完了」が表示されたら初期化完了です。

ご注意

- 初期化中は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。消去を完了するまで数十秒かかることがあります。
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化後、録音した音声ファイルは、ファイル名が 0001 からとなる場合があります。
- 一度初期化をすると、DRM 付き音楽ファイルを再び本機へ転送することができなくなる場合があります。
- 初期化をすると消去ロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。

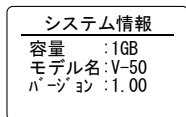
システム情報（System）を見る

メニュー画面から本機の情報を確認することができます。

1 「その他」画面で＋または－ボタンを押して「システム情報」を選ぶ

「その他」については（☞ P40、70、77）をご覧ください。

2 OKまたは▶▶|ボタンを押す

本機の情報が表示されます。

システム情報
容量　　：1GB
モデル名：V-50
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ ：1.00

3 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

パソコンの外部メモリとして使う

音声レコーダー、音楽プレーヤーとしての使いかたの他に、本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用できます。
本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存することが可能です。

たとえば、エクスプローラなどでパソコンのデータをコピーする

1 パソコンを起動する

2 本機をパソコンに接続する

接続方法は、「パソコンに接続する」をご覧ください（☞ P44）。

3 エクスプローラを起動する

本機がリムーバブルディスクとして表示されます。

4 データをコピーする

データの読み書きやコピーなど、アクセス中は本機の録音/再生表示ランプとUSBアクセス表示ランプが赤く点滅します。

ご注意

- 録音/再生表示ランプとUSBアクセス表示ランプが赤く点滅中は、絶対にUSB接続を外さないでください。データが破損する可能性があります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池を交換して下さい **(Battery Low)**	電池残量がない。	新しい電池に交換してください(☞ P12)。
消去できません **(File Protected)**	消去ロックがかかっているファイルを消去しようとした。	消去ロックを解除してください(☞ P36)。
これ以上記録できません (インデックスマークをつけるとき) **(Index Full)**	ファイル内でインデックスマークを最大数(16)まで使っている。	必要のないインデックスマークを消去してください(☞ P34)。
インデックス未対応です **(Index Can't Be Entered)**	音楽ファイルや本機以外で録音したWMA ファイルにインデックスマークをつけようとした。	本機またはオリンパス製ICレコーダーで録音した音声ファイルに限りインデックスマークがつけられます。
これ以上記録できません (録音するとき) **(Folder Full)**	フォルダ内のファイル件数が最大数(199)になっている。	必要のないファイルを消去してください(☞ P72)。
メモリーに異常があります **(Memory Error)**	内蔵フラッシュメモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。(☞ P91) 。
不正コピーされたファイルです **(Licence Mismatch)**	不正にコピーされた音楽ファイルです。	ファイルを消去してください(☞ P72)。
メモリーがいっぱいです **(Memory Full)**	フラッシュメモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください(☞ P72)。
ファイルがありません **(No File)**	フォルダ内にファイルがない。	フォルダを選び直してください。
初期化に失敗しました **(Format Error)**	初期化に問題があった。	メモリを再フォーマットしてください(☞ P82)。
このファイルは読み取り専用です **(Read Only File)**	パソコンで読み取り専用に設定したファイルを消去しようとした。	パソコンで読み取り専用の設定を解除してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の ⊕ ⊖ を確かめてください。
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください（☞ P12）。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P13、75）。
操作できない	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P13、75）。
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください（☞ P12）。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P72）。
	ファイル番号が最大記録件数になっている。	別のフォルダを確認してみてください。
	音楽プレーヤーモードになっている。	モードスイッチを「レコーダ」に切り替えてください（☞ P16）。
再生音が聞こえない	イヤホンが接続されている。	内蔵スピーカでの再生時はイヤホンをはずしてください。
	音量が０になっている。	ボリュームを調節してください（☞ P26）。
消去できない	消去ロックがかかっている。	消去ロックを解除してください（☞ P36）。
	読み取り専用ファイルである。	パソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした。	—
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯の近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてみてください。
録音のレベルが小さい	マイク感度が低い。	マイク感度を「会議」にしてもう一度録音してみてください（☞ P23）。
インデックスマークがつけられない	インデックスマーク件数が最大（16 件）になっている。	必要のないインデックスマークは消去してください（☞ P34）。
	消去ロックがかかっている。	消去ロックを解除してください（☞ P36）。
	読み取り専用ファイルである。	パソコンで読み取り専用の設定を解除してください。

症状	考えられる原因	対処方法
ダウンロードした音楽ファイルがない	ダウンロード先のフォルダが音楽用フォルダ以外である。	音楽用フォルダに音楽ファイルをコピーしてください。
	音声レコーダーモードになっている。	モードスイッチを「ミュージック」に切り替えてください（☞ P16）。
録音した音声ファイルがない	音楽プレーヤーモードになっている。	モードスイッチを「レコーダ」に切り替えてください（☞ P16）。
	録音したフォルダではない。	フォルダボタンでフォルダを切り替えてください。
電池寿命が短い	電池ボックス接続端子（☞P10の㉕）や、電池室内の電池接点部に汚れが付着している。	電極部を傷付けないように注意して、乾いた柔らかい布などで清掃してください。

アクセサリー（別売）

ステレオマイクロホン：ME51SW（V-50のみME51S同梱）

ステレオマイクロホンME51Sと延長コード、クリップのセットです。大口径マイク内蔵で、より高感度のステレオ録音が可能です。

単一指向性マイクロホン：ME12（口述録音用マイク）

周囲の雑音の影響を軽減して、ご自身の声を録音したい場合に使用します。

単４形ニッケル水素充電池／充電器セット：BC400

ニッケル水素充電器BU-400と単４形ニッケル水素充電池BR401 ４本組セットです。オリンパス製の単3、単4形ニッケル水素充電池を急速充電できます。

モノラルタイピンマイク（無指向性）：ME15

タイピン付きの目立たない小型マイクです。

テレホンピックアップ：TP7

イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

単４形ニッケル水素充電池：BR401

持続性に優れた高性能充電池です。

コネクティングコード：KA333（接続コードのみV-50に同梱）

両端がステレオミニプラグ（φ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をマイク入力に接続して録音する場合に使用します。
モノラルミニプラグ（φ 3.5）、またはモノラルミニミニプラグ（φ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

用語の説明

用語	意味
ボイストレック	オリンパス製ICレコーダーの総称です。
メモリ	内蔵のフラッシュメモリのことを指します。
音声ファイル	本機で録音した用件のことを音声ファイルと呼びます。
音楽ファイル	WMA（Windows Media Audio）、MP3（MPEG1、2 Audio Layer 3）形式のファイルのことを音楽ファイルと呼びます。
停止状態	本機が録音、再生などの動作をしていない状態を指します。
ビットレート	1秒間あたりに処理されるデータ量のことです。圧縮率を示すこの数値が高いほど音質は良くなりますが、ファイルの容量が大きくなります。
フォルダ	ファイルを分類して録音するための機能（入れ物）です。
キュー（CUE）	早送り再生のことです。
レビュー（REVIEW）	早戻し再生のことです。
VCVA	設定より大きな音を感知すると自動的に録音を開始し、音が小さくなると停止する音声起動録音の略称です。
録音モード	録音の用途に合わせて選択可能な録音方式のことです。
消去ロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。
インデックスマーク	音声ファイル中のどこにでもつけられる頭出し信号のことです。
BEEP（ビープ）音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。
フォーマット	初期化とも言います。
USB接続	本機とパソコンを接続するための方法です。 接続にはパソコン側にUSB端子が必要です。

主な仕様

デジタル音声レコーダー部

記録形式 WMA（Windows Media Audio）形式

規定入力レベル －70dBv

サンプリング周波数
ステレオ HQ モード: 44.1kHz
HQ モード : 44.1kHz
SP モード : 22kHz
LP モード : 8kHz

総合周波数特性 ステレオ HQ モード : 100Hz～15kHz
HQ モード : 100Hz～12kHz
SP モード : 100Hz～5kHz
LP モード : 100Hz ～3kHz

記録時間 (V-50)
ステレオ HQ モード : 約 35 時間 25 分
HQ モード：約 70 時間 50 分
SP モード：約 139 時間 30 分
LP モード：約 277 時間 20 分
(V-40)
ステレオ HQ モード : 約 17 時間 40 分
HQ モード：約 35 時間 20 分
SP モード：約 69 時間 30 分
LP モード：約 138 時間 15 分
(V-30)
ステレオ HQ モード : 約 8 時間 45 分
HQ モード：約 17 時間 35 分
SP モード：約 34 時間 40 分
LP モード：約 68 時間 55 分

アルカリ電池持続時間
録音：（ステレオ HQ モード）約 11 時間
（HQ・SP モード）約 12 時間
（LP モード）約 15 時間
再生：（全モード）約 7 時間

ニッケル水素充電池持続時間
録音：（ステレオ HQ モード）約 9 時間
（HQ・SP モード）約 10 時間
（LP モード）約 12 時間
再生：（全モード）約 6 時間

デジタル音楽プレーヤー部

対応データ形式 WMA、MP3 形式

サンプリング周波数 44.1kHz

周波数特性 20Hz ～ 20kHz

記録時間 (V-50)
約 13 時間 20 分～ 45 時間 20 分
(V-40)
約 6 時間 40 分～ 22 時間 40 分
(V-30)
約 3 時間 20 分～ 11 時間 20 分

ヘッドホン最大出力
5mW ＋ 5mW（22Ω 負荷時）

アルカリ電池持続時間
WMA：約 14 時間
MP3：約 16 時間

ニッケル水素充電池持続時間
WMA：約 11 時間
MP3：約 12 時間

共通仕様部

記録媒体 内蔵型 NAND FLASH メモリー 1GB（V-50）、512MB（V -40）、256MB（V-30）

スピーカ φ 18mm 丸型ダイナミック スピーカ内蔵

マイクジャック φ 3.5mm
インピーダンス 2kΩ、

イヤホンジャック φ 3.5mm インピーダンス 8Ω 以上

スピーカ実用最大出力（DC1.5V）
70mW以上（スピーカ8Ω）、

電源 定格電圧：1.5V
電池：単４形電池１本（LR03、R03またはZR03）
ニッケル水素充電池１本

外形寸法 94.8 × 38.2 × 11mm
（最大突起部含まず）

質量 46g（アルカリ電池含む）

同梱品 本体
ステレオイヤホン (E33)
単４形アルカリ乾電池 × 1
USB延長ケーブル
取扱説明書（保証書付）
（V-50のみ同梱）
専用ケース
ステレオマイクロホン（ME51S)
ダビング用コネクティングコード
専用ネックストラップ

＊ 本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。
＊ 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池・使用条件により大きく変ります。

アフターサービスについて

お買い上げいただきました本機を安心してご愛用いただくために当社では、次のアフターサービス体制をとっております。ユーザー登録を行っていただくと、各種サービス情報をお届けできます。
http://olympus-imaging.jp/ からお願いします。

● **オリンパスホームページ**
http://www.olympus.co.jpでICレコーダ（ボイストレック）および関連製品の技術情報を提供しております。

● **製品に関するお問い合わせは**
オリンパスカスタマーサポートセンター
Tel ：0120 – 084215
携帯電話・PHS：0426 – 42 – 7499
Fax：0426 – 42 – 7486

※ カスタマーサポートセンター・修理センターおよびサービスステーションの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **修理に関するお問い合わせは**
お買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後６年間をめやすに保有しております。したがいまして上記期間中は、原則として修理をお受けいたします。また期間後であっても修理可能の場合もあります。なお保証期間経過後の修理は有料となります。また、保証期間中でも運賃など諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。

＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   イ．ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   ロ．お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   ハ．火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   ニ．本書のご提示がない場合。
   ホ．本書にお買い上げ年月日、シリアルNo.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   ヘ．電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス イメージング株式会社
〒 163-0914 東京都新宿区西新宿 2-3-1 新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から１年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	１年	無料	
品名	ボイストレック	型名	V-
シリアルNo.		お買い上げ日	年 月 日
販売店名			

J1-BZ8146-05
AP0606